OKI

ユーザーズマニュアル

本体を設置しよう

セットアップ編

MC852dn
MC862dn
MC862dn-T

COREFIDO
コアフィード

○このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
○本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

はじめに

本機に付属のマニュアルについて

1. マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. マニュアルの内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. マニュアルの内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. マニュアルの内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。

Adobe、PostScript および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。

CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。

CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。

Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。

Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。

CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。

Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。

ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。

Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。

Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。

Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。

平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。

その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本機に搭載のソフトウェアについて

本機は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

本機は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

この製品には、Heimdal Project によって開発されたソフトウェアが含まれます。

紙幣、有価証券などの印刷について

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。
- 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。

  株券・手形・小切手などの有価証券

  公務員又は役所が作成した証明書などの文書

  契約書等、権利義務や事実証明に関する文書

  役所または公務員の印影、署名、記号

  私人の印影または署名
- 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律　　刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、
外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジ（ブラック）を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法Blue Angle RAL UZ-122:2006の付録2に基づき試験を実施しました。）

⚠危険

本装置には CR2450 リチウム電池が使用されています。
装置寿命期間内に、本装置内部のリチウム電池をお客様が交換する必要はありません。
なお、何らかの理由でリチウム電池を廃棄する場合は、＋極と－極をセロハンテープなどで絶縁してから、地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
他の金属や電池と混ざると発煙、破裂の原因となります。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

■ お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読みください。

お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。

もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ製品を所有する場合に限り、当該製品に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピューターにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2 財産権および義務

(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権､版権､所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。

(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。

(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。

(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。

(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3 期間

(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。

(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。

(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4 保証

(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。

- 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
- 本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
- 第三者の権利を侵害していないこと。
- 特定の目的に適合していること。

(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6 準拠法
本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7 契約の有効性
本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8 輸出管理
本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9 完全な合意
お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10 Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with “Restricted Rights” as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される“Software”とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について

Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告

	本機内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギアが回転するのでケガのおそれがあります。		本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。		カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。		クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。		ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発するおそれがあります。本装置の電池は交換する必要がありません。電池には手を触れないでください。		装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。		電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。		通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。		水の入ったコップなどを装置の上にのせないでください。感電、火災のおそれがあります。
	装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。		トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。		こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 トナーを床などにこぼしてしまった場合、トナーを飛び散らさないよう、ぬれた布などで丁寧にふき取ってください。
	UPS(無停電電源)やインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターは使用しないでください。 火災のおそれがあります。				

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。		壊れた液晶ディスプレーにはさわらないでください。 液晶ディスプレーから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。 必要に応じて医師の診断を受けてください。

マニュアルの構成

本製品には以下のユーザーズマニュアルが付属しています。

電子のマニュアルは、ソフトウェア DVD-ROM に格納されています。

Step 1 最初にお読みください

・冊子
・電子

本体を設置しよう

セットアップ編（本書）

本機を安全に使用するための注意事項を記載しています。ご利用前に必ずお読みください。
また、本機の設置手順や用紙のセット方法など、使用する前に必要な準備について説明しています。

- 製品を確認する
- 本機を設置する
- 電源を入れる/切る
- 用紙について
- 原稿について
- 操作パネルを使用して文字を入力する
- 各機能を使用する

Step 2 本機のセットアップが終了したあとにお読みください

・冊子
・電子

プリンター､コピー､ファクス､スキャナーを使ってみよう

基本操作編

各機能を使用するための設定と、基本的な使い方について説明しています。
また、アドレス帳の登録方法についても説明しています。

- プリントする
- コピーする
- ファクスする
- スキャンする
- 本機で利用できる
  ユーティリティーソフトウェア

Step 3 目的に応じてお読みください

・電子

とことん使いこなそう

便利な機能/本体の設定編

集約や仕分けなど、各機能の便利な使い方を説明しています。ジョブメモリー、カラー調整、ユーザー認証、アクセス制御など、高度な機能についても説明しています。
また、操作パネルから設定できる項目や、ネットワークに関する設定についても説明しています。

- いろいろなプリントのしかた
- いろいろなコピーのしかた
- いろいろなファクスのしかた
- いろいろなスキャンのしかた
- よく使う機能や設定の登録
- カラー調整
- 機器設定/レポート印刷
- ユーザー認証・アクセス制御
- メニュー一覧・装置仕様

・冊子
・電子

わからないときやお手入れのときに

困ったときには/日々のメンテナンス編

用紙や紙がつまったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法を説明しています。消耗品やメンテナンスユニットの交換方法、また清掃などの日常のお手入れについても説明しています。
付録に本機の仕様が記載されています。

- 困ったときには
- メンテナンス
- 消耗品/オプション/推奨紙

・電子

パソコンから管理/設定しよう

ユーティリティーソフトウェア編

Windows や Macintosh で利用できるユーティリティーソフトウェアのインストール方法や使い方を説明しています

- 本機で利用できる
  ユーティリティーソフトウェア
- Windows/
  Macintosh用ユーティリティー
- Windowsユーティリティー
- Macintoshユーティリティー

本機のマニュアルについて

表　記

本機に付属のマニュアルでは、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit 版)※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit 版)※
- Microsoft® Windows Server 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版→ Windows XP(x64 版)※
- Microsoft® Windows Server® 2003　x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64 版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista※
- Microsoft® Windows Server 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003※
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 の総称 → Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。（Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます。）

本機に付属のマニュアルでは、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.7、本機は MC862dn を例にしています。

お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

マーク

注

- 本機を正しく動作させるための注意や制限です。誤った操作をしないため、必ずお読みください。

メモ

- 本機を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

参照

- 参照ページです。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

⚠警告

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

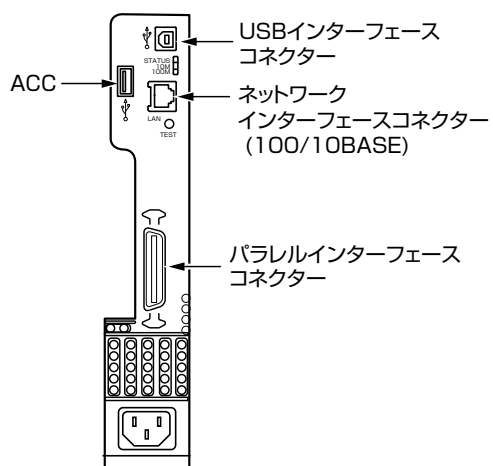
目次

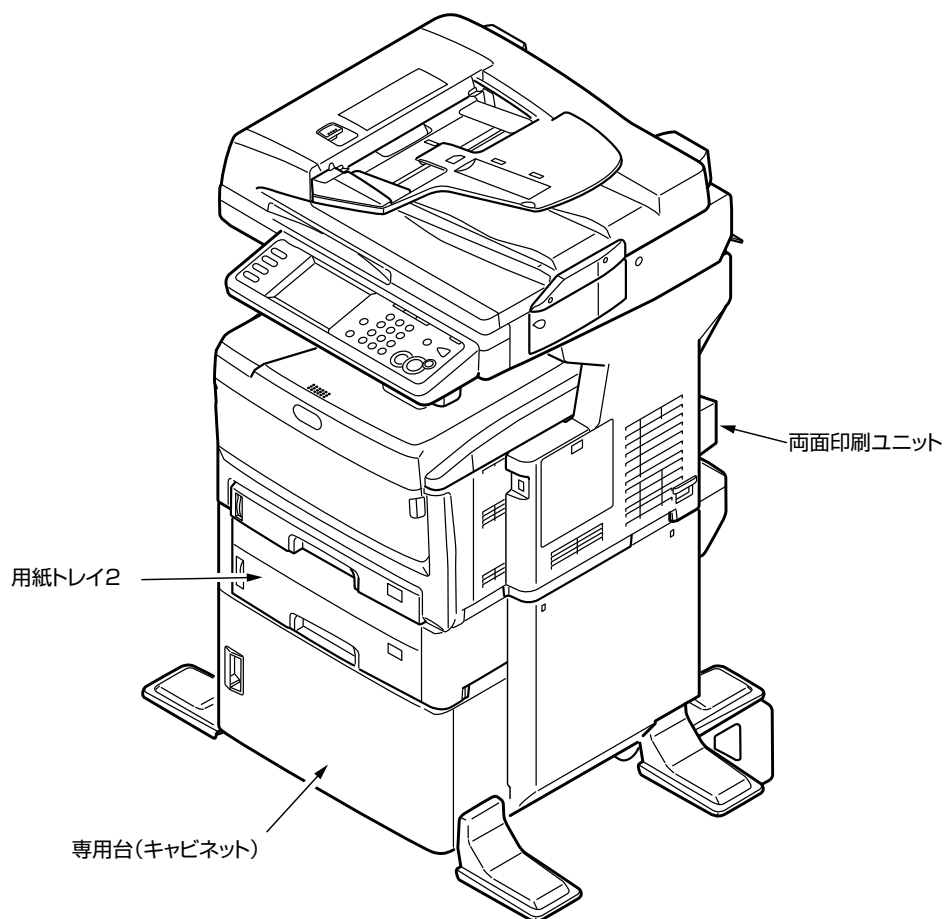
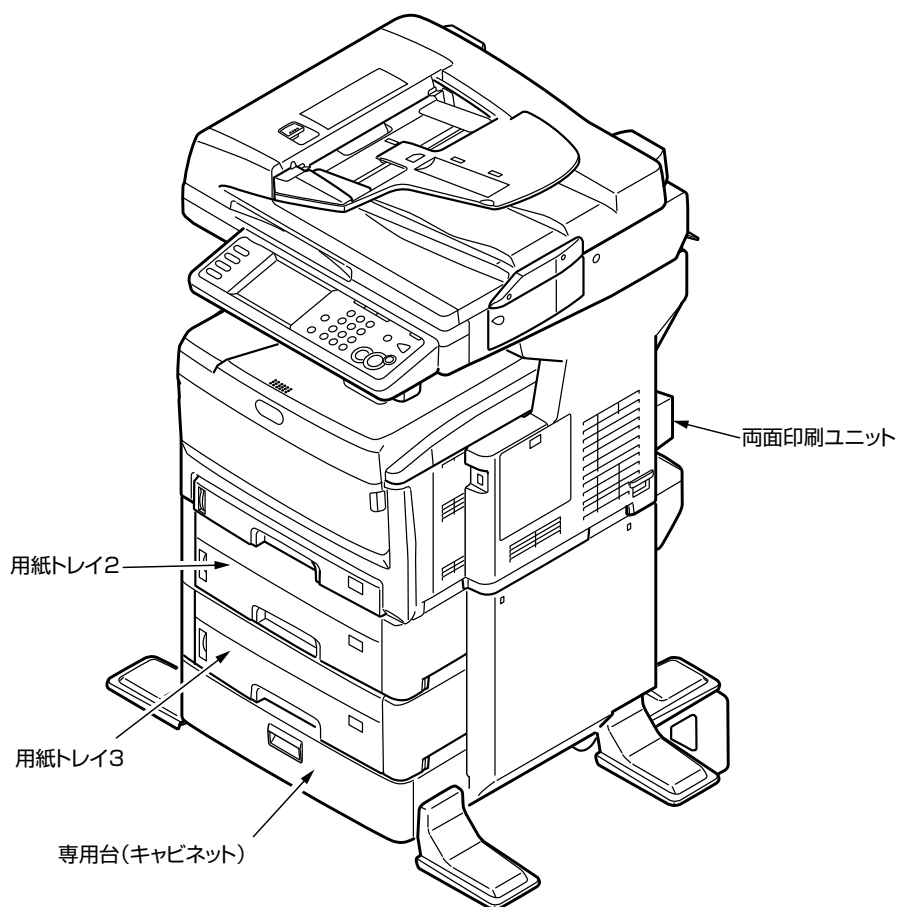
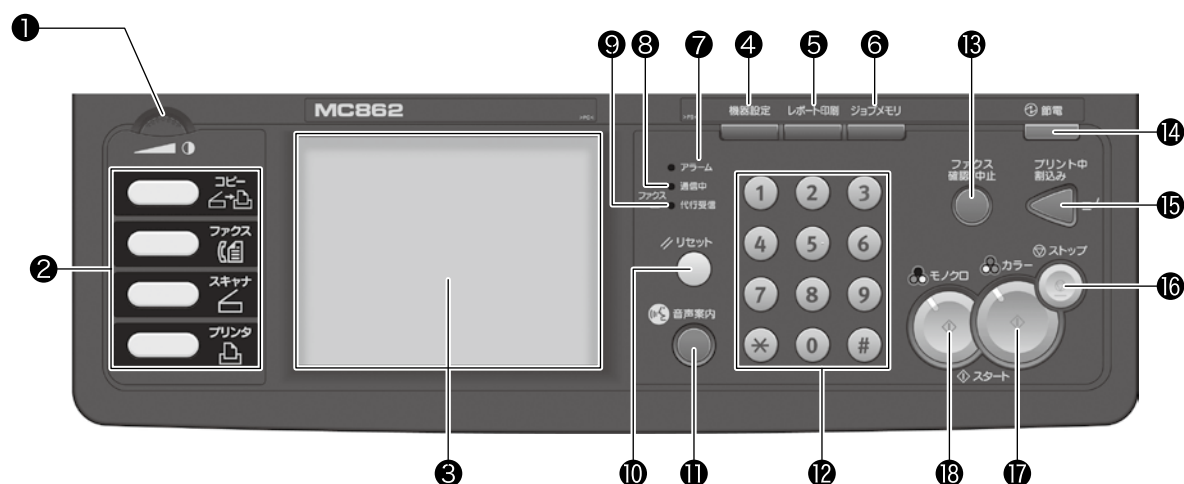
1

製品を確認する

各部の名称とはたらき

本体

〈インターフェース部〉

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

構成部品およびオプション

操作パネル

番号	名称	はたらき
1	液晶調整ボリューム	タッチパネルディスプレーの明るさを調整します。
2	機能切り替えキー	コピー、ファクス、スキャン、プリンターと各種画面を切り替えるときに押します。選択されたキーが水色に点灯します。
3	タッチパネルディスプレー	画面に直接触れて操作することができます。
4	<機器設定>キー	機能を呼び出すときに押します。
5	<レポート印刷>キー	各種レポートを出力するときに押します。
6	<ジョブメモリー>キー	ジョブメモリー機能を登録するときに押します。便利な機能 / 本体の設定編「よく使う一連の作業を登録する（ジョブメモリー機能）」をご覧ください。
7	アラームランプ	エラーがおきると赤色に点灯します。
8	通信中ランプ	通信中に点灯します。
9	代行受信ランプ	用紙がなくなった場合など、メモリーに受信データが入ると点灯します。
10	<リセット>キー	操作を中止するときや、設定を取り消して初期値にするときに押します。
11	<音声案内>キー	用紙がつまったときの解除方法や、機能の説明を音声で聞きたいときに押します。音声案内中や音声案内を聞くことができる場合はキーが黄緑色に点滅します。「機能や操作方法を音声で案内する（音声案内）」（P.20）をご覧ください。
12	テンキー	ダイヤルするために番号を入力したり、コピー部数を指示したりする場合など、数字を入力するときに押します。
13	<ファクス確認／中止>キー	通信を確認または中止することができます。
14	<節電>キー	待機時の消費電力を押さえるため、節電モードに入るときに押します。「本機を使用していないときの消費電力を抑える（節電モード）」（P.56）をご覧ください。
15	<プリント中割込み>キー	コンピューターからの印刷中に、他のコピーを優先させたいときに押します。プリント中割込みキーを押すと、キーが黄緑色に点灯します。
16	<ストップ>キー	機械の動作を中止するときに押します。
17	<カラースタート>キー	コピーやスキャンを開始する時に押します。
18	<モノクロスタート>キー	コピーやファクス、スキャンを開始する時に押します。

操作パネルについて

タッチパネルディスプレーの説明

機能を切り替える

機能切り替えキーを押すと、コピー待機画面やファクス待機画面に切り替わります。

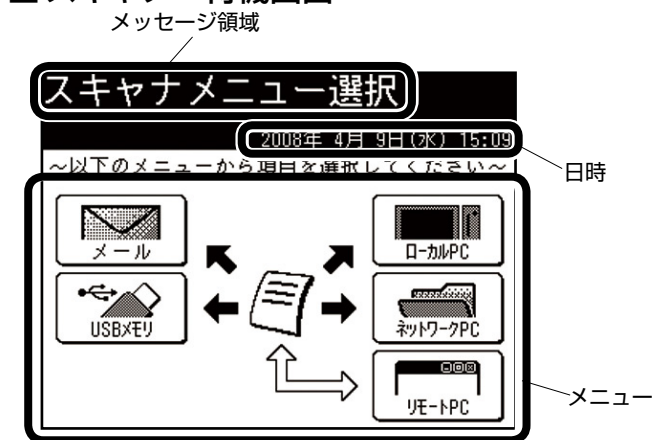
各機能の画面の見かた

■ コピー待機画面

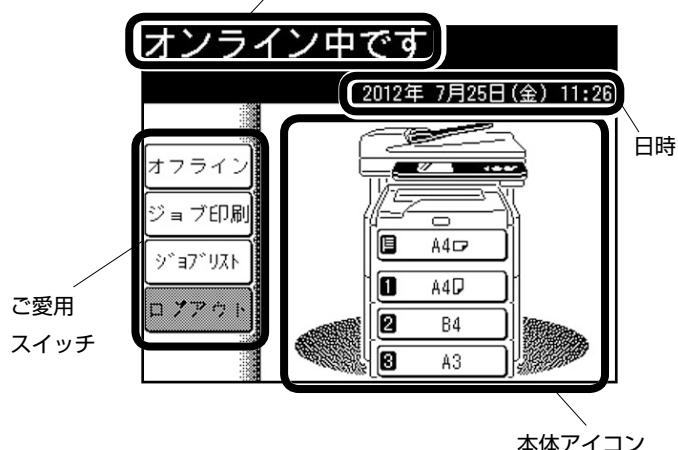
名　称	機　　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
セット枚数	コピー部数を表示します。
本体アイコン	本機の状態を表示します。コピーを行うカセットの選択もできます。 メモ ● 装着したカセットによって、画面の表示が変わります。
ご愛用スイッチ	様々な機能をここから設定することができます。また、選択された機能の状態も表示します。よく使う機能に変更することができます。 参照 ● 便利な機能 / 本体の設定編「待機画面によく使う機能を表示する（ご愛用スイッチ）」をご覧ください。

■ ファクス待機画面

名　称	機　　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
待機状態	ファクスの待機状態を表示します。
日時、メモリー残量	現在の日付と時刻、ファクスのメモリー残量を表示します。
宛先表	登録した短縮ダイヤルやグループを表示します。また、相手先を直接登録することもできます。
ご愛用スイッチ	様々な機能をここから設定することができます。また、選択された機能の状態も表示します。よく使う機能に変更することができます。 参照 ● 便利な機能 / 本体の設定編「待機画面によく使う機能を表示する（ご愛用スイッチ）」をご覧ください。

■ スキャナー待機画面

名　称	機　　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
日時	現在の日付と時刻、を表示します。
メニュー	スキャンの機能を選択します。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

■ プリンター待機画面

名　称	機　　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
日時	現在の日付と時刻、を表示します。
本体アイコン	本機の状態を表示します。 メモ ● 装着したカセットによって、画面の表示が変わります。
ご愛用スイッチ	オンライン / オフラインを切り替えたり、ジョブ印刷を行うときに使用します。

キー表示とはたらき

■ 設定キー

機能を設定するときに押して、設定画面を開きます。機能の設定後、設定値を表示するキーもあります。設定が必要だったり、他の機能と組み合わせができなかったりする場合は、灰色の表示になり選択できないようになります。

また、各機能の設定キーを選択するとキーが反転表示されます。

● 設定値

画質　写真

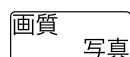
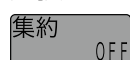
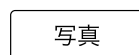
● 選択できない場合

集約　OFF

● 選択前

写真

● 選択後

写真

参照

● 待機画面に表示される設定キー（ご愛用スイッチ）の内容を変更することができます。便利な機能 / 本体の設定編「待機画面によく使う機能を表示する（ご愛用スイッチ）」をご覧ください。

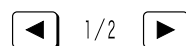
■ カーソルキー

数値を入力したり、機能を選択したりするときに使用します。また、画面を切り替えるときにも使用します。

● 数値入力

01 mm ▲ ▼

● 画面切り替え

◀ 1/2 ▶

■ [取消し] キー、[確定] キー

[取消し] は、画面で設定した機能や数値を取り消して、その画面を閉じます。

[確定] は、画面で指定した機能や数値を設定して、その画面を閉じます。

取消し　確定

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

機能や操作方法を音声で案内する（音声案内）

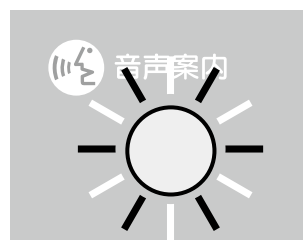
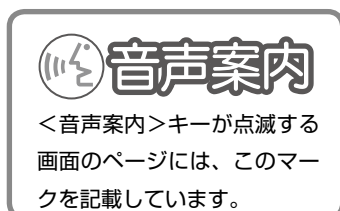
機能の説明や操作の方法を「ことば」によって案内します。

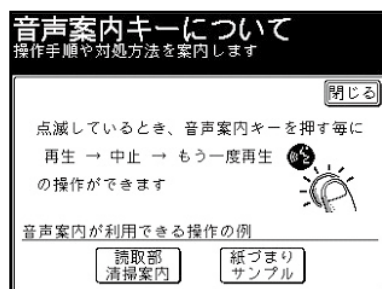
＜音声案内＞キー

音声案内できる場合または音声案内中は、＜音声案内＞キーが点滅します。音声案内中に、もう一度＜音声案内＞キーを押すと、音声案内を中止します。

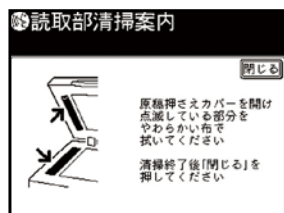
＜点滅＞

音声案内

＜音声案内＞キーが点滅する画面のページには、このマークを記載しています。

■ 音声案内サンプル表示

＜音声案内＞キーが消灯している場合に押すと、音声案内の例を表示します。

- ［読取部清掃案内］を押すと、読取部の清掃のしかたを表示します。

参照

- 困ったときには / 日々のメンテナンス編「本機のお手入れ」にも清掃の手順が載っています。

- ［紙づまりサンプル］を押すと、紙づまりが発生した場合の音声案内のサンプルを表示します。

音声案内する項目

■ 操作案内

機能の説明や登録・設定方法、紙づまりの解除方法などを案内します。

メモ

- 音声案内するのは一部の機能・紙づまりのみです。

■ エラー解除案内

紙づまりなど、本機に問題がある場合に音声で解除方法を案内します。

■ お知らせガイダンス

原稿を挿入したときの「コピーできます」など、本機の状態を音声で案内します。

注

- 「エラー解除案内」と「お知らせガイダンス」は、＜音声案内＞キーの状態とは関係なく、本機の状態によって案内を自動的に始めます。

■ 動作完了音

コピーやファクスの送受信、受信原稿の印字が完了したことを案内します。

参照

- 音設定の動作完了音にて、それぞれの完了音に「音声」を設定できます。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

操作案内モードについて

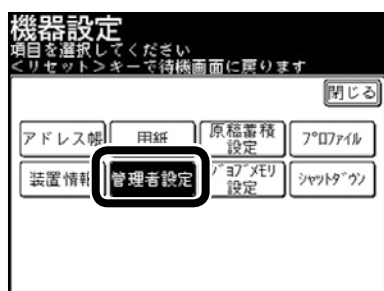
操作案内には 2 種類のモードがあります。初期設定は「手動」になっています。

操作案内モード	動　作
自動	音声案内できる場合は自動的に音声案内を始めます。
手動	音声案内できる場合に、点滅している＜音声案内＞キーを押すと音声案内を始めます。

音声案内を設定する

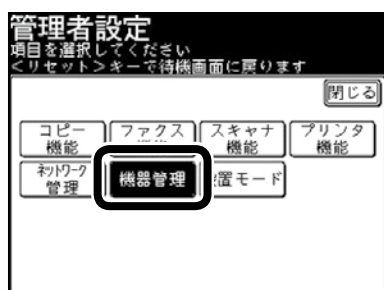
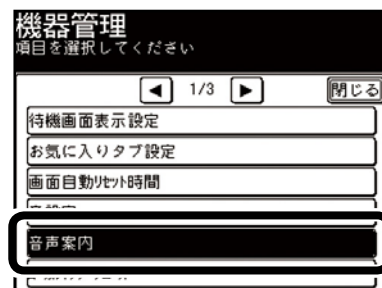
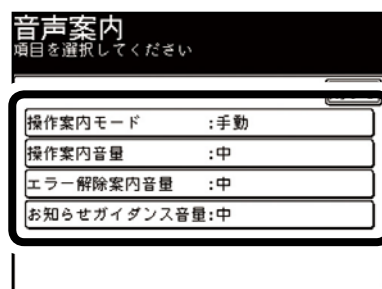
音量や操作案内のモードなどを設定できます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ

- 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは「aaaaaa」となっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［音声案内］を押します。

6 設定したい機能を選択します。

参照

- それぞれの機能の詳細については、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

音声案内する場面

音声案内する場面については、下の表をご覧ください。

参照

- 設定方法については、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

音声案内の項目	音声案内する場面	音量設定・出力設定
操作案内	短縮ダイヤルの登録方法	機器管理→音声案内→操作案内音量
	E メールアドレスの登録方法	
	プロファイルの登録方法	
	紙づまりの解除手順	
	ファクス中止方法	
	コピー応用機能で各機能を選択したときの機能説明	
	ファクス応用機能の一部	
	スキャン To 機能	
	スキャン応用機能の一部	
	読取部の清掃方法	
エラー解除案内	紙づまりが発生した	機器管理→音声案内→エラー解除案内音量
	ファクス中止する場合に<ストップ>キーを押した	
	用紙が無くなった	
お知らせ ガイダンス	自動原稿送り装置に原稿を差し込んだ	機器管理→音声案内→お知らせガイダンス音量
	ファクス送信、メール送信時の宛先確認のとき	
	ダイヤル２度押し画面が表示されたとき	
完了音	コピーが完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→コピー完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ファクス送信が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ファクス送信完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ファクス受信が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ファクス受信完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ファクス受信印字が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ファクス受信印字完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	メール送信完了	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→メール送信完了 音量調節：機器管理→音設定→動作完了音量
	レポート印刷が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→レポート印刷完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	印刷完了	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→印刷完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ガラス面での原稿読み取りが完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ガラス面読取完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量

同時に行うことができる機能（多重動作）

本機では、いくつかの動作を同時に行うことができます。詳しくは、下の表をご覧ください。

注

- 原稿の読み取り中は、操作パネルを使用できません。
- 多重動作中は、個々の動作の性能が低下することがあります。
- メモリーの空き容量が少ない場合など、ご使用の状況によっては多重動作ができないことがあります。

○：動作します　×：動作しません　△：<プリント中割込み>キーを押すとコピーできます

最初の動作 ＼ 次の動作	コピー	ファクス送信	ファクス受信	スキャン To E メール / ネットワーク PC/ USB メモリー	スキャン To リモート PC	コンピューターから印刷
コピー	×	○	○ *3	○	○	○ *3
ファクス送信	○	○ *2	×	○	○	○
ファクス受信	× *1	○ *2	×	○	○	○ *3
スキャン To E メール / ネットワーク PC/ USB メモリー	○	○	○	○	○	○
スキャン To リモート PC	×	×	○	×	×	○
コンピューターから印刷	△	○	○ *3	○	○	○ *3

*1　受信したファクスの印刷を開始していない場合は、コピーできます。

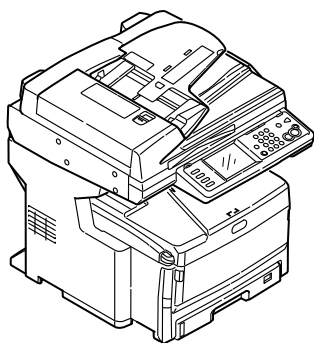
*2　最初の動作の通信中は、次の動作は通信予約となり、通信が完了すると予約した通信を開始します。

*3　最初の動作の印刷が完了した後に、次の動作の印刷を開始します。

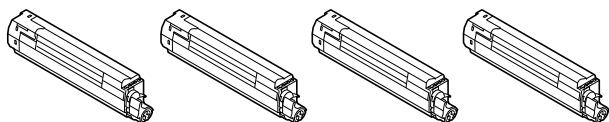
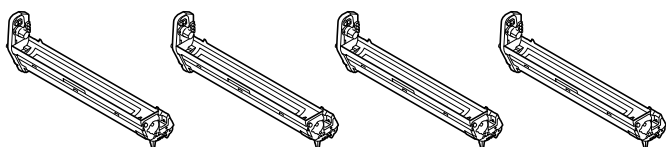
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

注意	ケガをするおそれがあります。	⚠
● 本体は重量が約 68Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。		

● 本体

メモ

- MC862dn-T の増設トレイについては、「増設トレイユニットを取り付ける」（P.36）をご覧ください。
- MC852dn/MC862dn には、オプションで増設トレイユニット［1 段トレイ（ロングキャビネット付）、[2 段トレイ（ショートキャビネット付）］を装着できます。

● スタータートナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

● イメージドラムカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

注

- イメージドラムカートリッジは本体内部にセットされています。

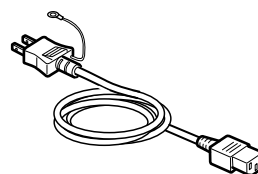
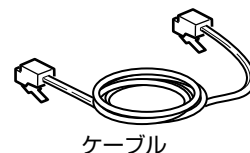
● ソフトウェア DVD-ROM

● ユーザーズマニュアル（セットアップ編）（本書）

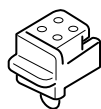
● ユーザーズマニュアル（基本操作編）

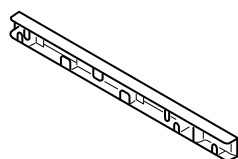
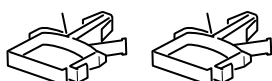
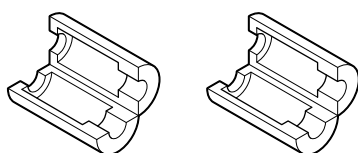
● ユーザーズマニュアル（困ったときには / 日々のメンテナンス編）

● 製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて

● 電源コード

● 電話線ケーブル

● キャップ（2 個）
本機のロックを解除したあと、ロック部にはめ込みます。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

- カバー
  「TEL コネクター」を使用しないときに「TEL コネクター」に差し込みます。

- ロック解除工具
  本機のロックを解除するときに使います。

- コードガイド
  本機に接続したコード類をまとめるときに使います。

- コードクランプ（2 個）
  本機に接続したコード類をまとめるときに使います。

- フェライトコア（2 個）
  電話線ケーブルを LINE コネクタおよび TEL コネクタに接続する時に使用します。

注

- プリンターケーブルは添付されていません。お使いのコンピューターに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材は本機を輸送するときに使います。捨てずに保管してください。
- 電話線ケーブルは添付されているものをご使用ください。
  4 芯のケーブルを使用すると通信ができません。

2 本機を設置する

設置条件

■ 動作環境

次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

周囲温度： 10 ～ 32℃
周囲湿度： 20 ～ 80%RH（相対湿度）
最大湿球温度： 25℃

結露しないように注意してください。

周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷およびカラー印刷を行なった場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

■ 設置に関する注意

⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 本機の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

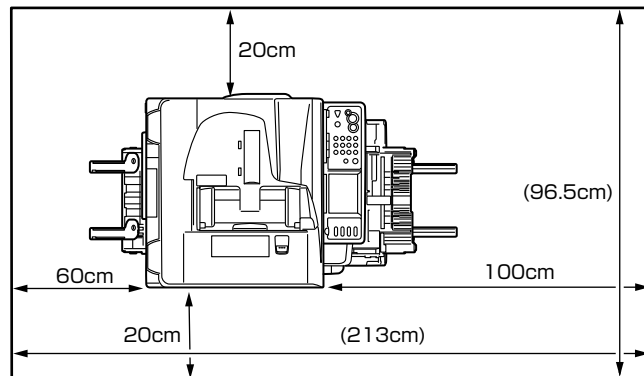
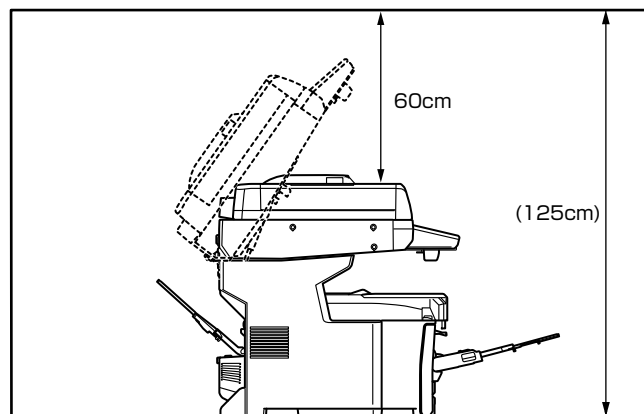
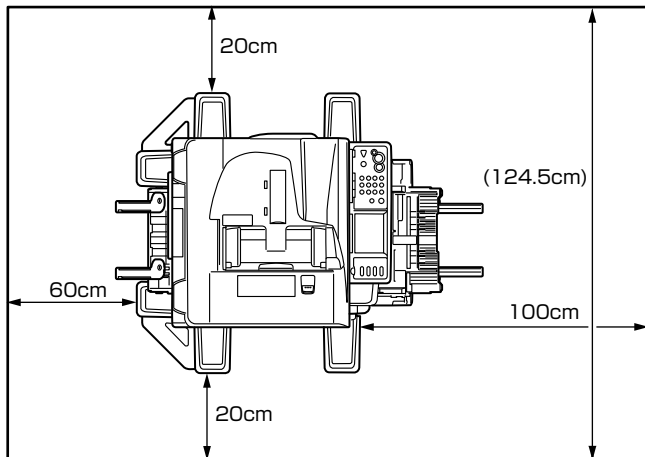
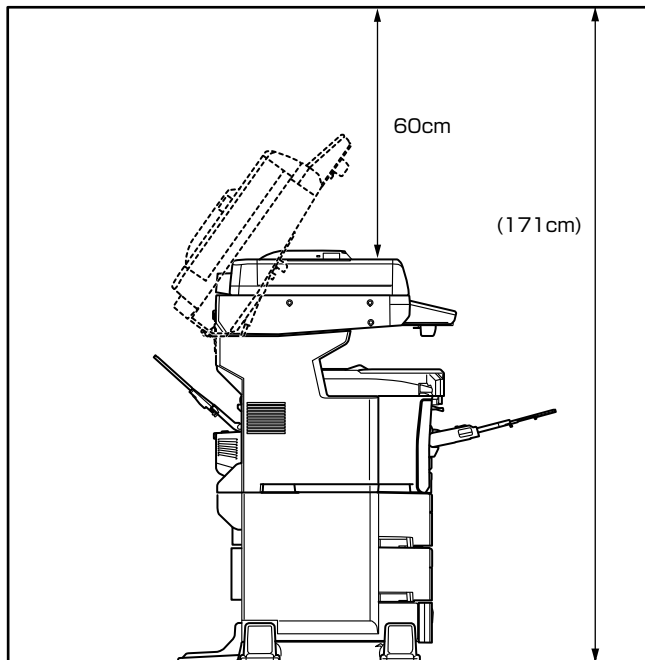
⚠注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニターやテレビから離して設置してください。
- 本機を移動するときは、本機の両側を持ってください。
- 本体は重量が約 68kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。
- 大量に印刷したり、長時間連続してご使用になるときは、換気に心掛けてください。

■ 設置スペース

本機の足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。

本機の周りに十分なスペースを取ってください。

● 平面図（MC852dn/MC862dn）

● 側面図（MC852dn/MC862dn）

- 平面図（MC852dn/MC862dn オプショントレイ装着時、MC862dn-T)

- 側面図 (MC852dn/MC862dn オプショントレイ装着時、MC862dn-T)

開梱と設置のしかた

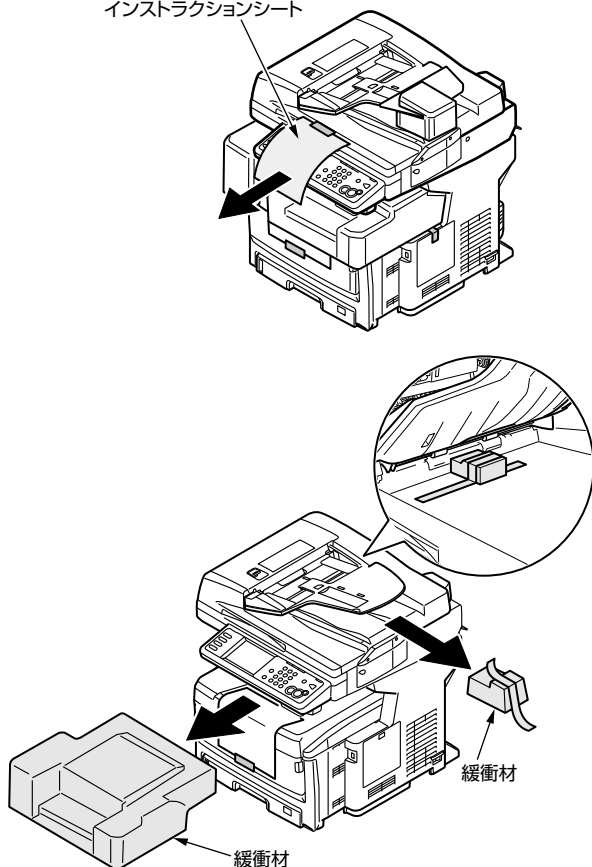
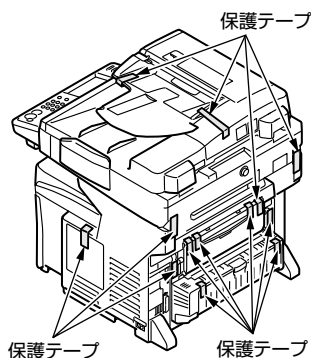
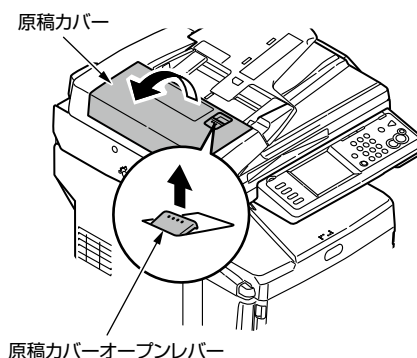
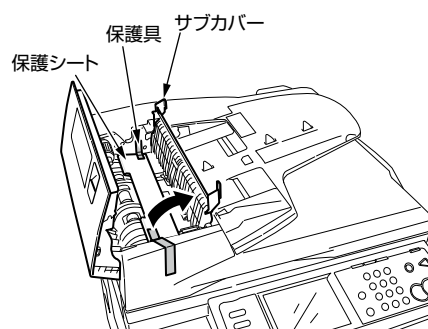
1 保護具を取り外します。

! 注

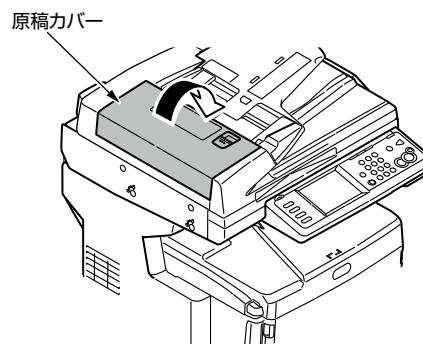
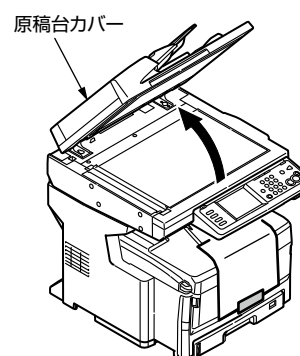
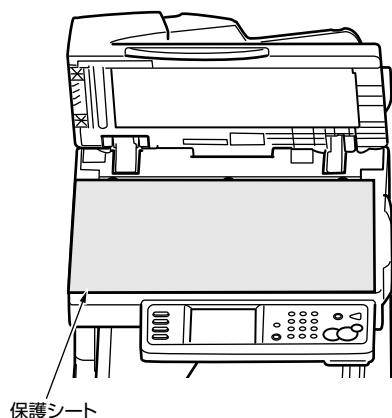
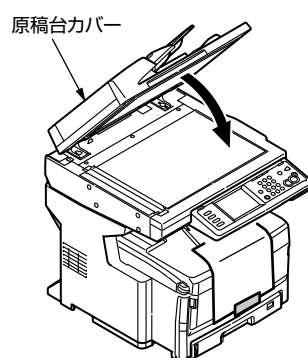
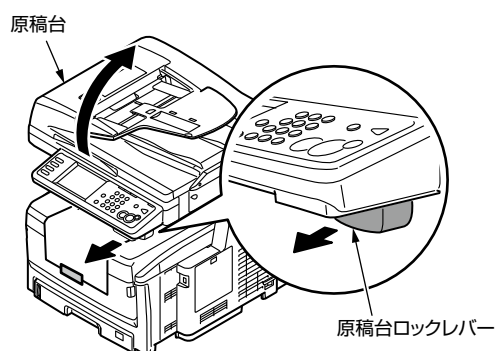
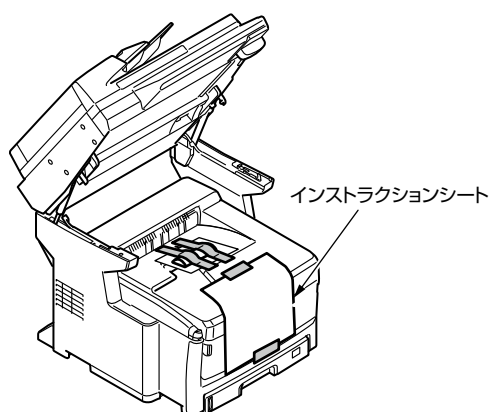
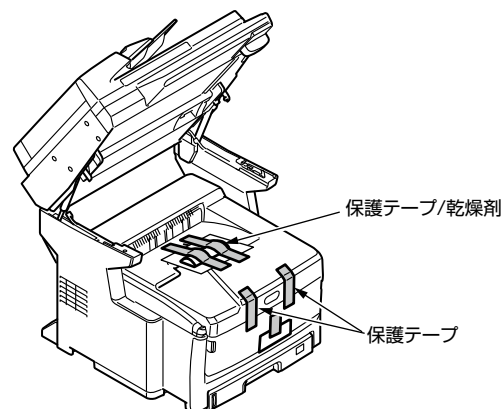
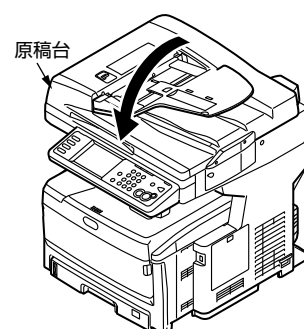
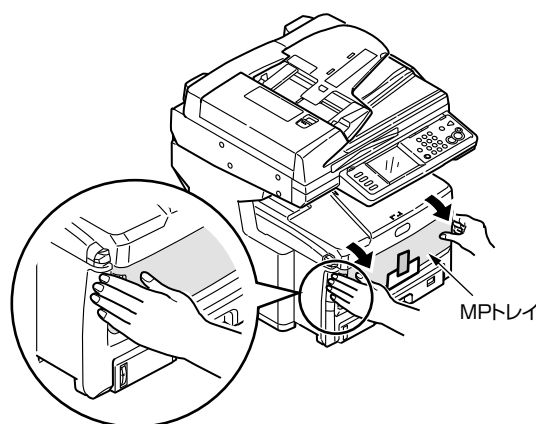
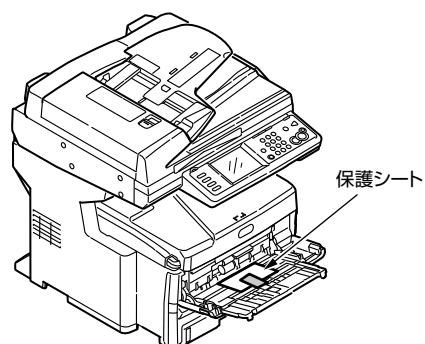
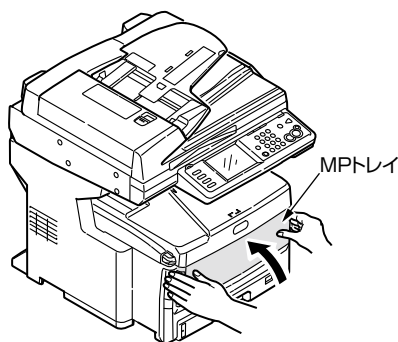
- 梱包箱や保護具は、装置を輸送するときに使いますので保管しておいてください。

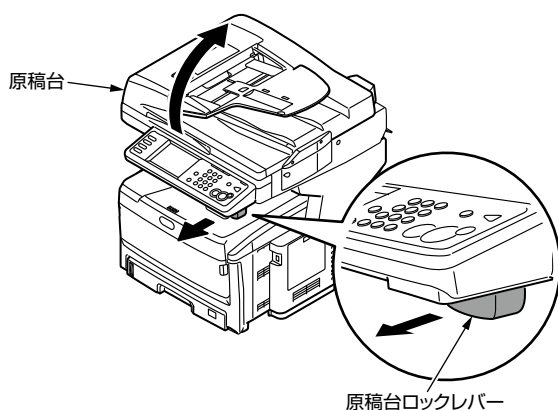
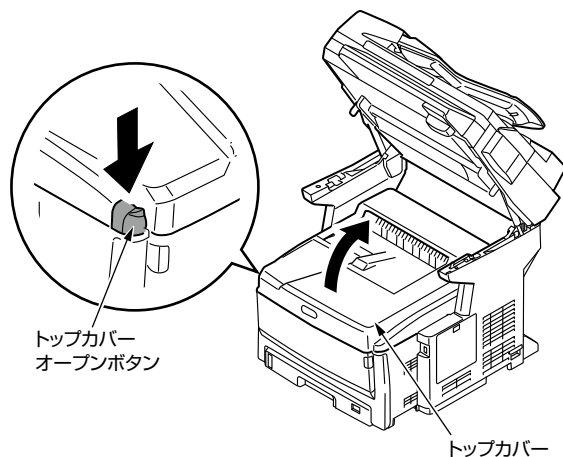
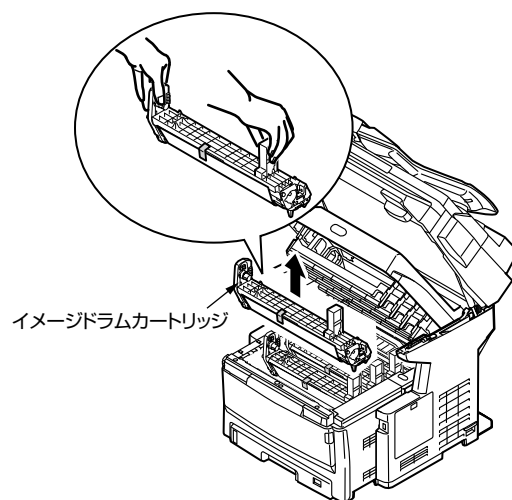
(1) 梱包箱から装置を取り出し、インストラクションシートと緩衝材を取り除きます。

! 注

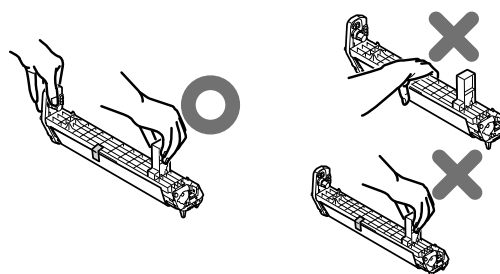
- 装置は必ず３人以上で持ってください。

(2) 背面、側面の保護テープをはがします。

(3) 原稿カバーオープンレバーを引き、原稿カバーを開けます。

(4) サブカバーを開け、保護シートと保護具を取り外します。

(5) 原稿カバーを閉じます。

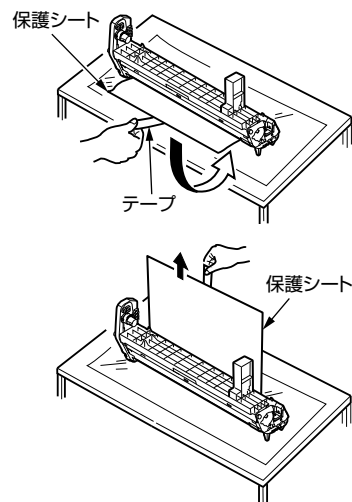
(6) 原稿台カバーを上げます。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

(7) 保護シートを取り外します。

(8) 原稿台カバーを元の位置に戻します。

(9) 原稿台ロックレバーを手前に引き、原稿台を上げます。

(10) インストラクションシートを取り除きます。

(11) 保護テープ、乾燥剤を取り除きます。

(12) 原稿台カバーを元の位置に戻します。

(13) MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

(14) 保護シートを取り除きます。

(15) MPトレイを閉じます。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

(1) レバーを手前に引き、原稿台を持ち上げます。

(2) トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

(3) イメージドラムカートリッジ(4 個)を両手で静かに取り出します。

! 注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

〈イメージドラムカートリッジの持ち方〉

(4) イメージドラムカートリッジを新聞紙等の上に置きます。

(5) 保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

3 トナーカートリッジをイメージドラムカートリッジにセットします。

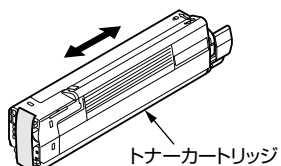
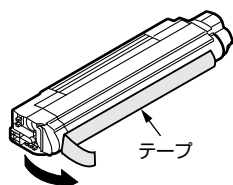
! 注

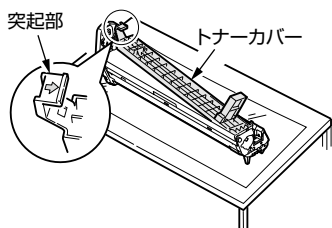
- 必ず製品購入時に本製品に添付されていたイメージドラムとトナーカートリッジをセットしてください。
  交換用、もしくは他の製品で使用していたものを使用すると、本製品に添付されていたイメージドラムとトナーカートリッジは使用できなくなります。

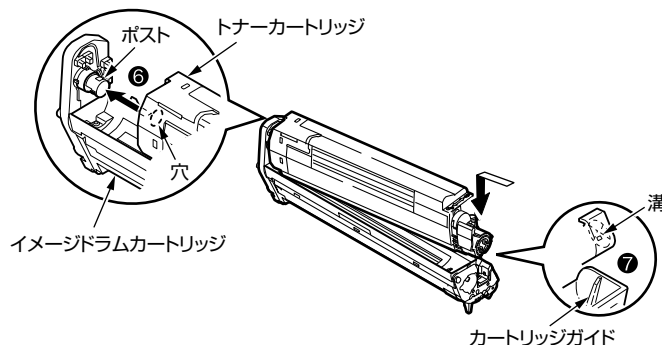
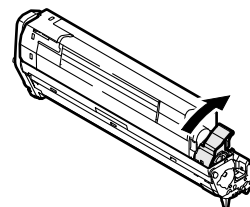
メモ

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約2,300 枚印刷可能です。
- トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。
  「ISO/IEC 19798」は、国際標準機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

(1) トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

(2) 縦と横に数回振ります。

(3) トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

(4) トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

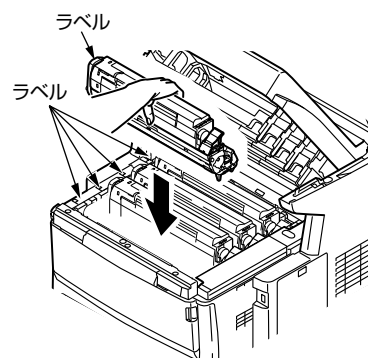
(5) イメージドラムカートリッジからトナーカバーを取り外します。

(6) テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

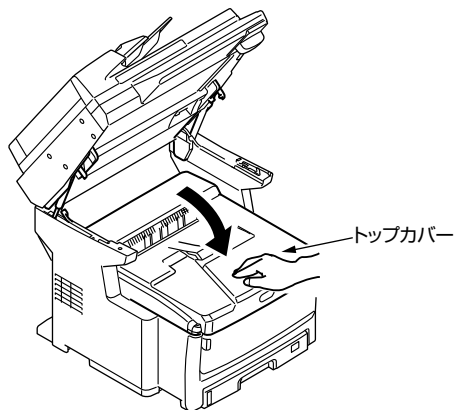
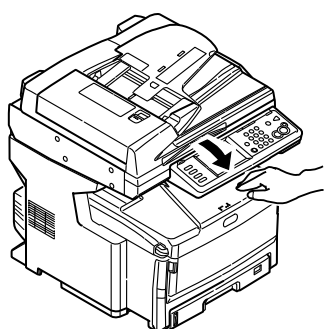
(7) トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

(8) トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

! 注

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 イメージドラムカートリッジを本体にセットします。

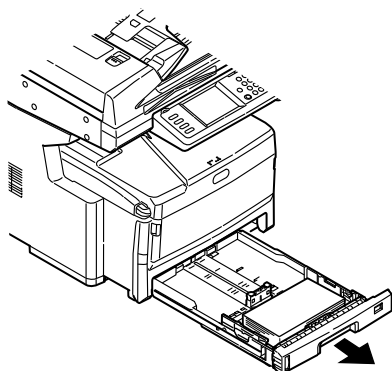
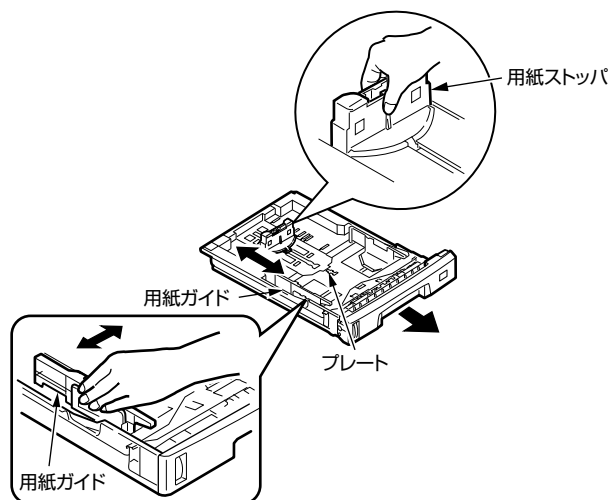
(1) イメージドラムカートリッジのラベルの色と本機のラベルの色を合わせます。

(2) イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かに戻します。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

(3) トップカバーを閉じます。

(4) 原稿台を元の位置に戻します。

注

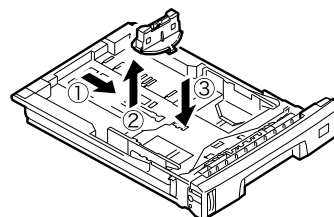
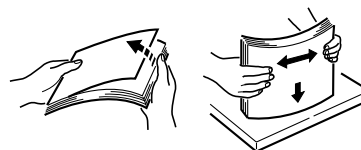
- 操作パネルの［トナーを交換してください］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。

5 用紙トレイに用紙をセットします。

(1) 用紙トレイを引き出します。

(2) 用紙ストッパーと用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

注

- 用紙ストッパーは、つまんで動かしてください。
- プレートについているコルクは、はがさないでください。

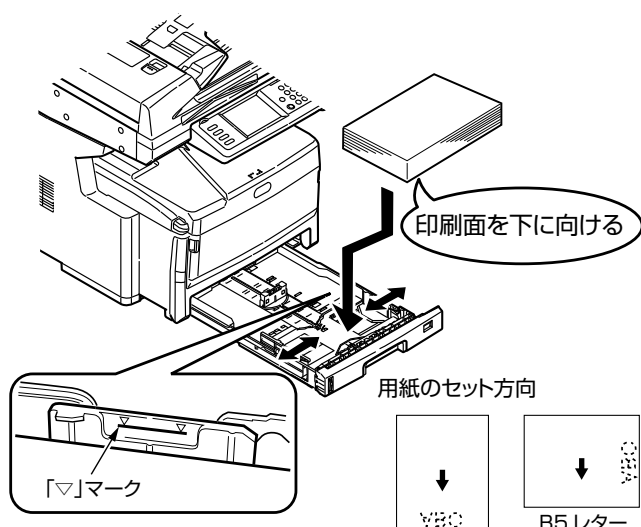
メモ

- A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパーを手前まで移動し、外してから図の位置に取り付け直します。

(3) 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

注

- 適していない用紙を使用すると、装置が故障するおそれがあります。

参照

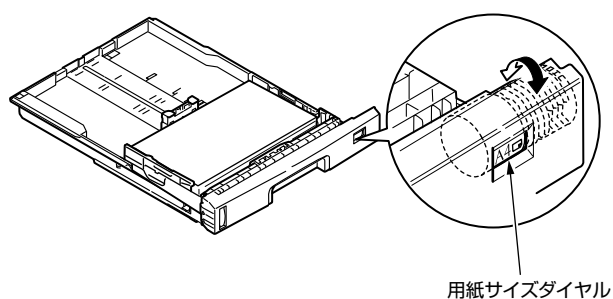
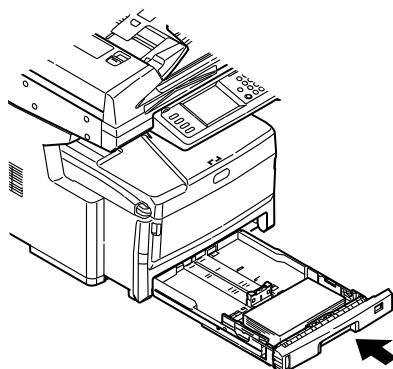
- 用紙については、「使用できる用紙の種類」（P.59）を参考にしてください。

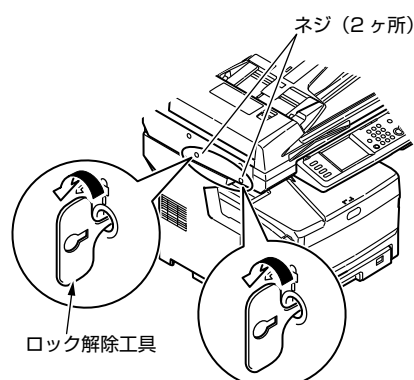
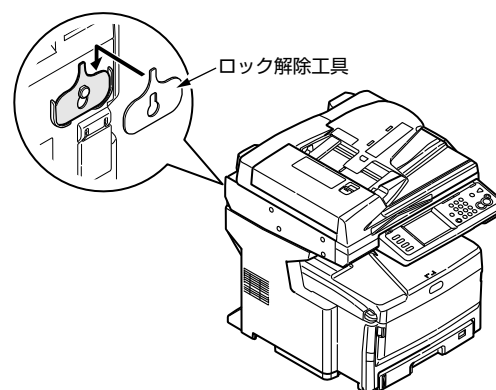
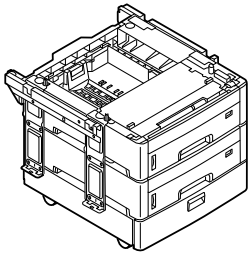
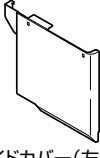
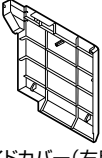
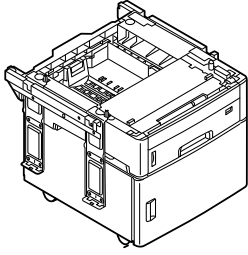
(4) 用紙カセットの手前側に、印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注

- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。(82g/m^2(連量 70kg)紙で 300 枚)

(5) 用紙サイズダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。
セットした用紙の向きと、用紙サイズダイヤルの記号が合うようにしてください。

参照

- 詳しくは、「用紙サイズダイヤルを合わせる」(P.68)をご覧ください。

(6) 用紙カセットを装置本体に戻します。

6 ロックを解除します。

(1) 添付のロック解除工具で、側面のネジ(2ヶ所)を矢印の方向に回し、ロックを解除します。

(2) ロック解除工具を、装置の背面に取り付けます。

増設トレイユニットを取り付ける

セットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。最大2段のトレイを増設できます。1つのトレイに64g/m^2(連量55kg) 紙の場合550枚セットでき、標準の用紙トレイ、MPトレイと合わせて最大1530枚を連続して印刷できるようになります。MC852dn/MC862dnでは、オプションとなります。

注

- A6用紙は使用できません。

メモ

- 増設したトレイを、トレイ2、トレイ3と呼ぶことがあります。

増設トレイユニット	付属品
2段トレイ（ショートキャビネット付） 型名:TRY-C3D4	とめ具(4個) ネジ(24本) サイドカバー(左用) サイドカバー(右用) 転倒防止足カバー(6個) 転倒防止足うしろ用(2個) 転倒防止足まえ用(2個)
1段トレイ（ロングキャビネット付） 型名:TRY-C3D5	

ここでは、2段トレイ（ショートキャビネット付）を取り付ける場合を例にしています。1段トレイ（ロングキャビネット付）も同様の手順で取り付けます。

1 梱包箱から増設トレイユニットを取り出し、緩衝材、保護材を取り外します。

注

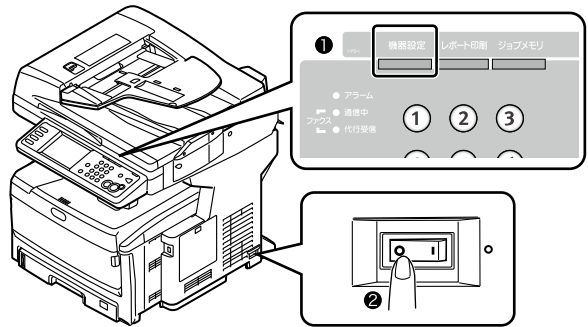
- 増設トレイユニットは、必ず2人以上で持ってください。

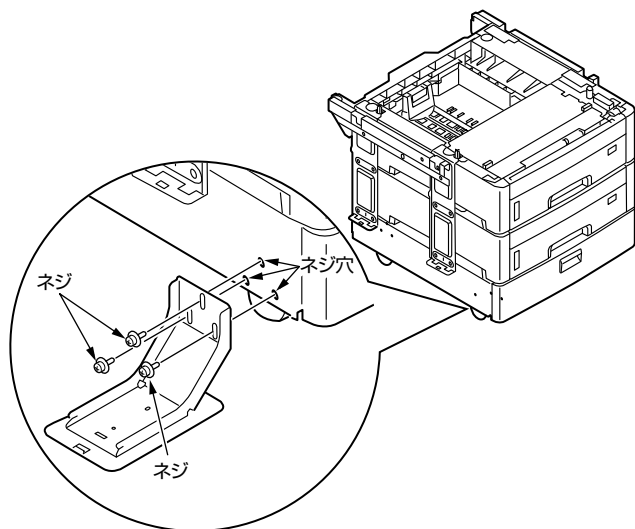
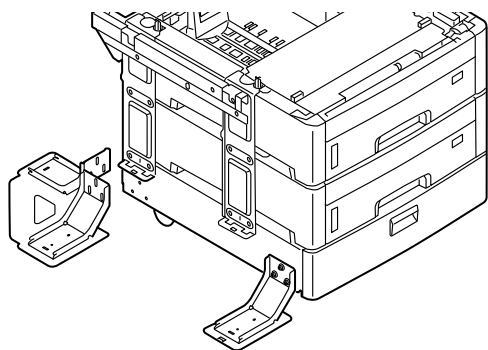
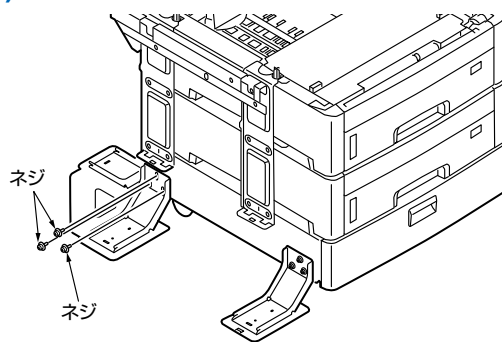
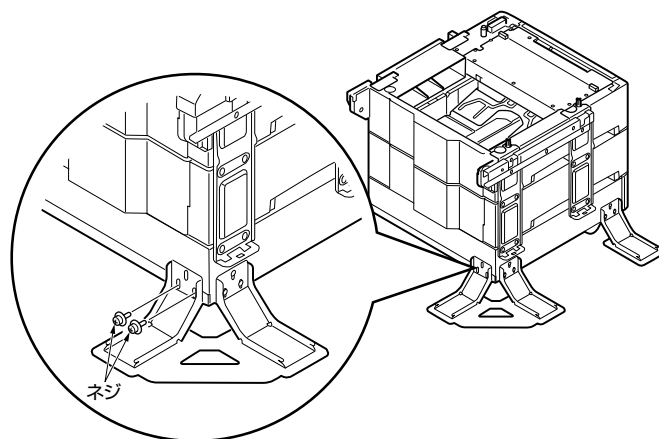
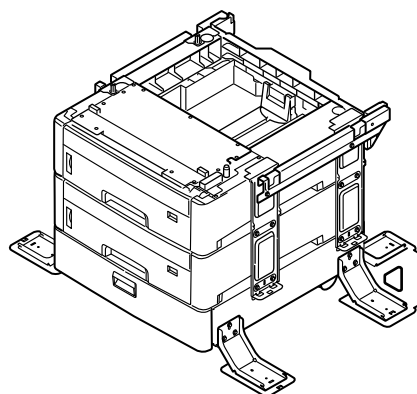
2 本機の電源をOFFにし、電源コード、ケーブル類を取り外します。

注

- 電源をONのまま取り付けると、装置が故障するおそれがあります。

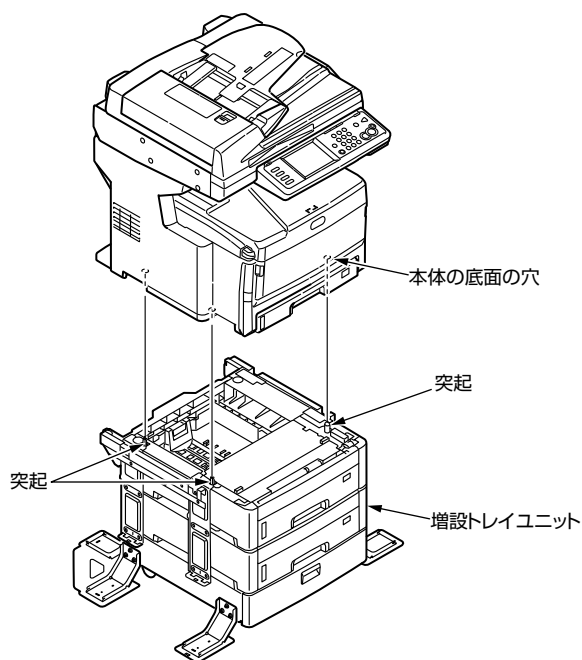
参照

- 電源の切り方は「電源を切る」(P.55)をご覧ください。

3 転倒防止足を取り付けます。

(1) 転倒防止足（まえ用）を、増設トレイユニットの左側面に、3 本のネジでとめます。

(2) 転倒防止足 (うしろ用) を、増設トレイユニットの左奥の角に合わせます。

(3) 左側面に、3 本のネジでとめます。

(4) 背面に、2 本のネジでとめます。

(5) (1) ～ (4) と同じ手順で、右側面に、転倒防止足 (まえ用)、(うしろ用) を取り付けます。

4 装置本体を増設トレイユニットに載せます。

⚠注意	ケガをするおそれがあります
● 本体は重量が約 68Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。	

(1) 本体の底面の穴と増設トレイユニットの 3 ヶ所の突起の位置を合わせます。

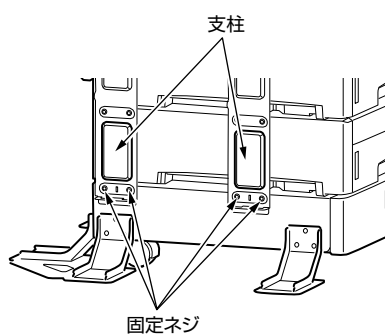
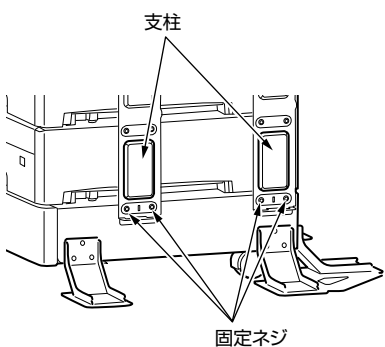
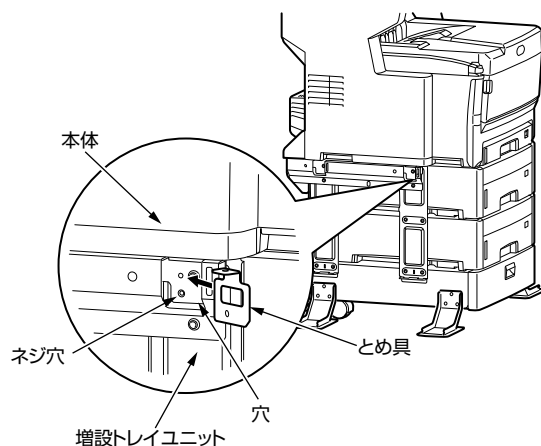
(2) 本体を増設トレイユニットの上に静かに載せます。

5 本体と増設トレイユニットを仮止めします。

増設トレイユニットの支柱のネジ８ヶ所をゆるめてから、仮止めします。
仮止めする箇所は、左側面２か所、右側面２か所です。最初に左側面から行います。

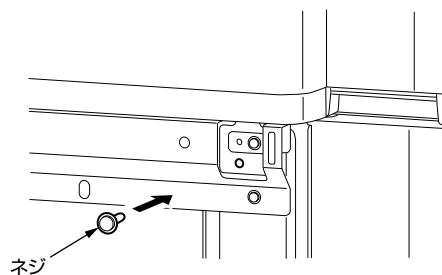
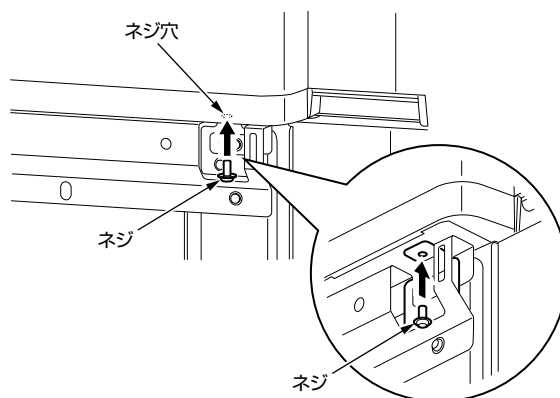
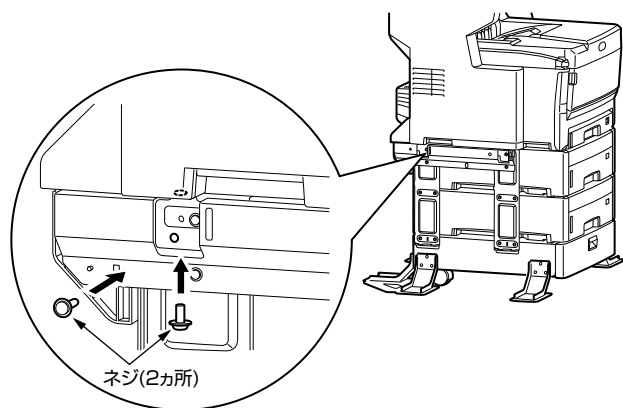
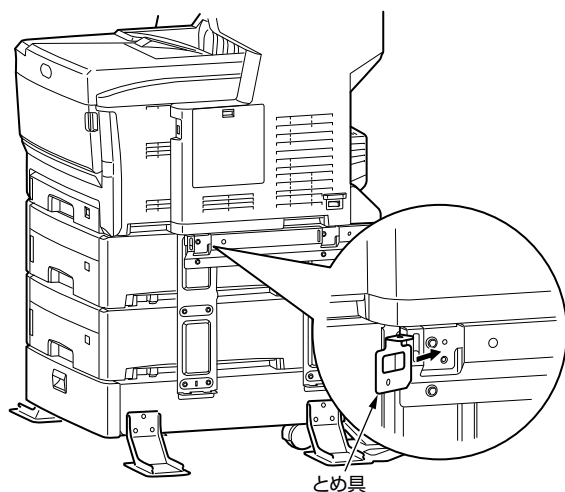
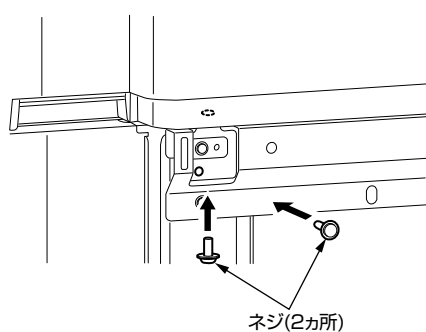
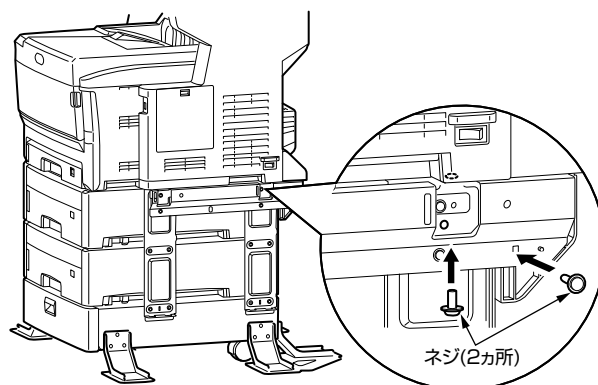
! 注

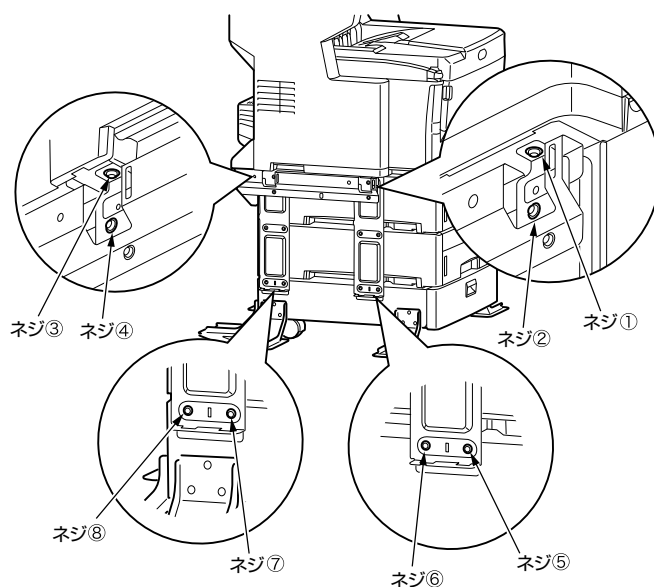
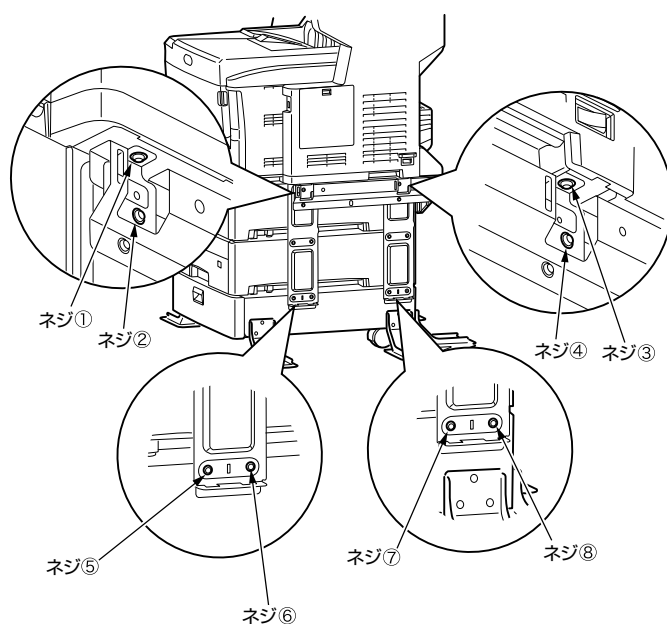
- ここではネジはきつくしめないでください。

(1) 増設トレイの支柱の固定ネジ、左側面４ヶ所、右側面４ヶ所をゆるめます。

左側面

右側面

(2) とめ具を、装置の左側面の手前側から取り付け位置に差し込みます。

(3) とめ具の下の穴と、増設トレイユニットのネジ穴の位置を合わせ、ネジを差し込み、軽くしめます。

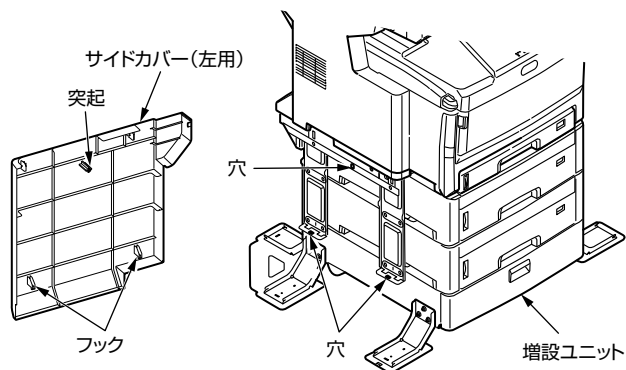
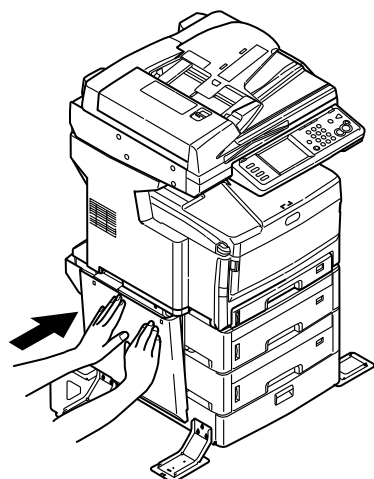
! 注

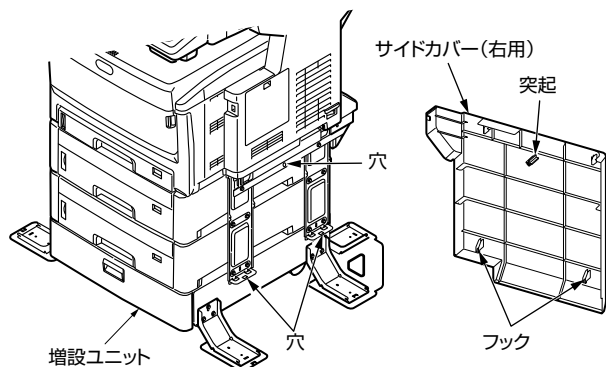
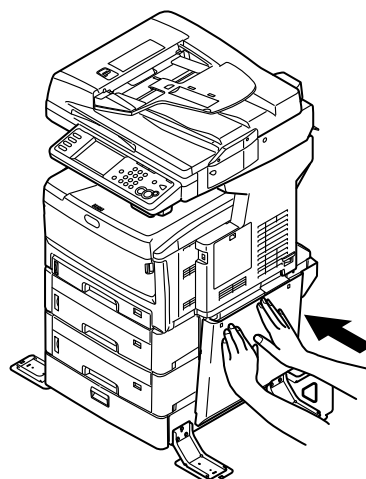
- きつくしめないでください。

(4) とめ具の上の穴と、本体のネジ穴の位置を合わせ、ネジを下から差し込み、軽くしめます。

(5) (2) ～ (4) の手順で、左側面の奥側を 2 か所、仮止めします。

(6) とめ具を、装置の右側面の手前側から、取り付け位置に差し込みます。

(7) (3) ～ (4) の手順で、右側面の手前側を仮止めします。

(8) (6) ～ (7) の手順で、右側面の奥側を仮止めします。

6 本体と増設トレイユニットを固定します。

手順 5 でゆるめたネジ 8 ヶ所と仮止めしたネジ 8 ヶ所、合計 16 ヶ所をしっかりしめます。

● 左側面

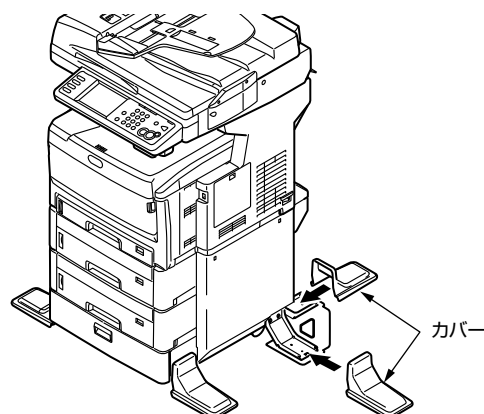
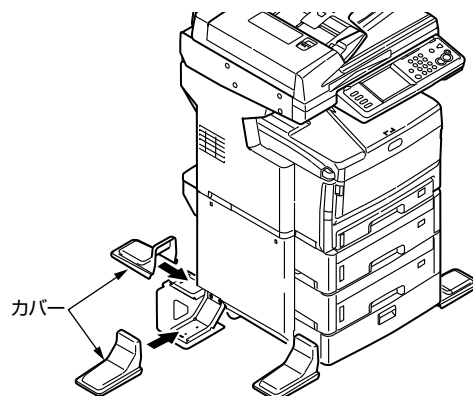
● 右側面

7 サイドカバーを取り付けます。

(1) サイドカバー（左用）を準備します。

(2) サイドカバー (左用) のフックを、増設トレイユニットの下側の穴にかけ、増設トレイユニット側に押し、取り付けます。

(3) サイドカバーが確実に取り付けられていることを確認します。

(4) サイドカバー（右用）を準備します。

(5) (2) ～ (3) と同様の手順で、右側面にサイドカバー（右用）を取り付けます。

(6) 左右のサイドカバーが確実に取り付けられていることを確認します。

8 転倒防止足カバーを取り付けます。

(1) 転倒防止足に、カバー（6 ヶ所）をスライドさせて取り付けます。

(2) 転倒防止足カバーが確実に取り付けられていることを確認します。

9 本機を設置位置に移動し、前のキャスター（2 ヶ所）をロックします。

10 電源コード、ケーブル類を取り付け、電源を入れます。

11 操作パネルに増設トレイ付きの装置が表示されていることを確認します。

12 プリンタードライバーでトレイの数を設定します。

プリンタードライバーで増設トレイユニットを認識させるための設定が必要です。

プリンタードライバーをセットアップしていない場合は、基本操作編「プリントする」を参照し、プリンタードライバーをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

! 注

- コンピューターの管理者の権限が必要です。

プリンタードライバーを設定する

プリンタードライバーで増設トレイを設定します。

参照

- プリンタードライバーをインストールする方法については、基本操作編「プリントする」を参照してください。

■ Windows の場合

❏ Windows PS プリンタードライバーの場合

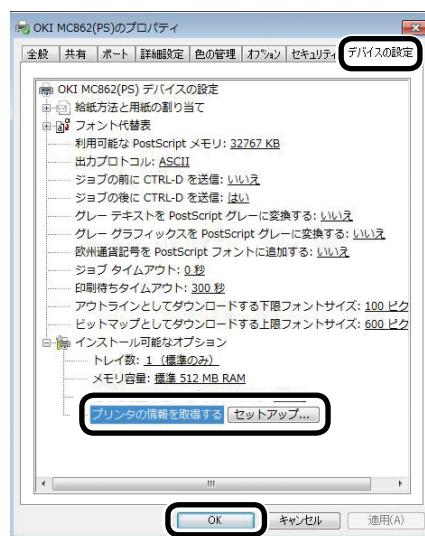
1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862(PS)］アイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［デバイスの設定］タブを選択します。

4 ネットワーク接続の場合は、［インストール可能なオプション］で［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］をクリックします。

USB 接続の場合は、［インストール可能なオプション］の［トレイ数］で現在のトレイ総数を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

❏ Windows PCL プリンタードライバーの場合

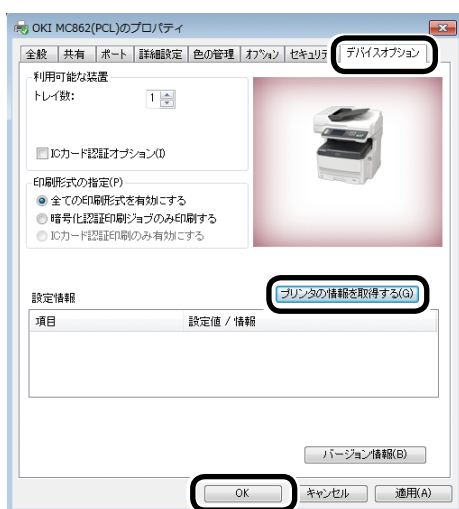
1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC862(PCL)］アイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］を選択します。

3 ［デバイスオプション］タブを選択します。

4 ネットワーク接続の場合は、［プリンタの情報を取得する］を選択します。

USB 接続の場合は、［トレイ数］に現在のトレイ総数を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

■ Mac OS X の場合

Mac OS X ではプリンタードライバーをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「AppleTalk」で接続した場合にもプリンタードライバーのインストール後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。

これらの場合、以下の手順にてオプションを設定してください。

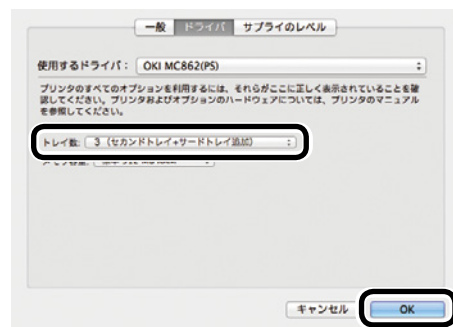
❏ Mac OS X PS プリンタードライバーの場合（Mac OS X 10.5 ～ 10.7）

1 アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

2 ［プリントとスキャン］（OS X 10.5 ～ 10.6 では［プリントとファクス］）をクリックします。

3 本機を選択し、［オプションとサプライ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブを選択します。

5 ［トレイ数］で、現在のトレイ総数を選択し、［OK］をクリックします。

❏ Mac OS X PS プリンタードライバーの場合（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11）

メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

1 ［移動］メニューから［ユーティリティ］を選択し、［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

2 本機を選択し、［情報を見る］をクリックします。

3 プリンター名の下のポップアップメニューから［インストール可能なオプション］を選択します。

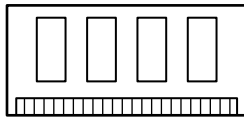
4 ［トレイ数］で、現在のトレイ総数を選択し、［変更を適用］をクリックします。

5 ［プリンタ情報］を閉じます。

はじめに 1 製品を確認する 2 本機を設置する 3 電源を入れる／切る 4 用紙について 5 原稿について 6 操作パネルを使用して文字を入力する 7 各機能を使用する 索引

増設メモリー（オプション）を取り付ける

本機のメモリー容量を増やしたいときに取り付けます。［メモリオーバーしました］と表示されるときなどに追加します。
標準で 256MB のメモリーが装着されています。さらに増設する場合は、256MB のメモリーを外してください。

増設メモリー

型名：MEM512C

型　名	メモリー量（総メモリー量）
MEM512C	512MB（768MB）

注

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 標準で取り付けてあるメモリーを外し、増設メモリーと入れ替えます。
- 長尺印刷を行う場合は、増設メモリーの追加を推奨します。

1 電源を OFF にし、電源コード、ケーブル類を取り外します。

注

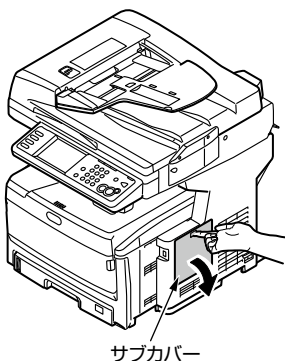
- 電源を ON のまま取り付けると、装置または増設メモリーが故障するおそれがあります。
- 電子部品やコネクター端子には触らないでください。
- メモリーの向きにご注意ください。メモリーの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクターと勘合するようになっています。

参照

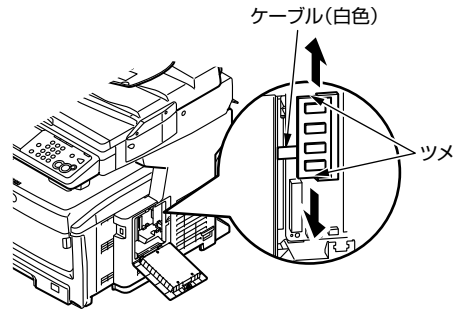
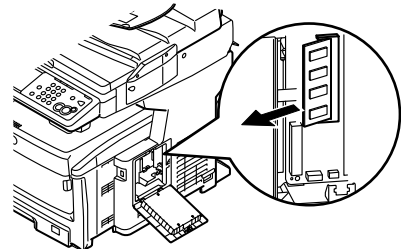
- 電源の切り方は「電源を切る」（P.55）をご覧ください。

2 メモリーを外します。

(1) メモリーを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

(2) サブカバーのくぼみに指を入れ、手前に引き、開きます。

(3) 取り付けてあるメモリーの両端のツメを広げます。

注

- メモリーの左脇のケーブル（白色）には触らないでください。

(4) メモリーを取り外します。

3 増設メモリーを取り付けます。

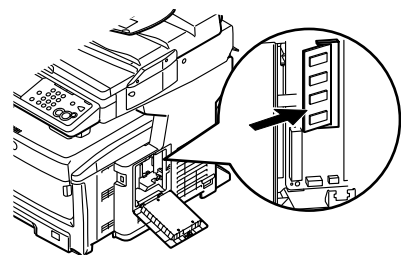
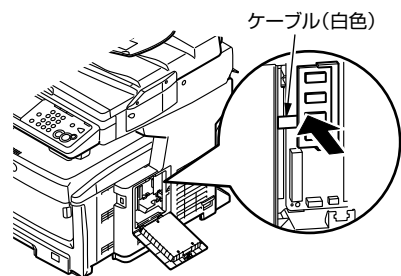
(1) メモリーをスロットに斜めに押し込みます。

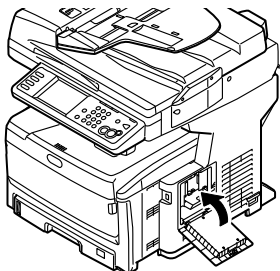
注

- メモリーの左脇のケーブル（白色）には触らないでください。

(2) メモリーを装置側に押し、固定します。

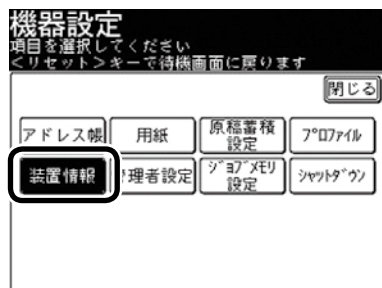
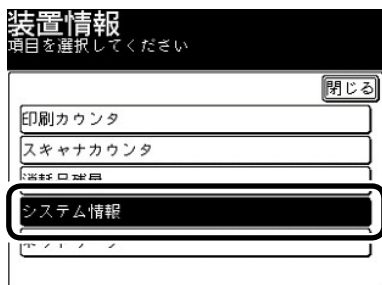
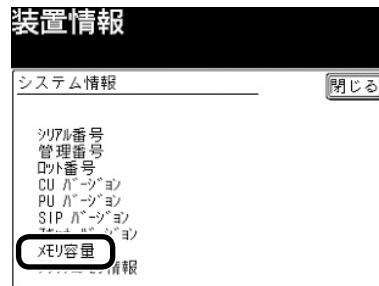
はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

(3) メモリーの左脇のケーブル（白色）がコネクターから抜けていないことを確認します。

(4) サブカバーの扉を閉じます。

4 電源コード、ケーブル類を取り付け、電源をON にします。

5 増設メモリーが正しく取り付けられていることを確認します。

(1) ＜機器設定＞キーを押します。

(2)［装置情報］を押します。

(3)［システム情報］を押します。

(4) メモリー容量を確認します。

注

- メモリー容量が正しく表示されない場合は、メモリーを取り付け直してください。

ケーブルを接続する

ネットワークケーブルを接続する

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

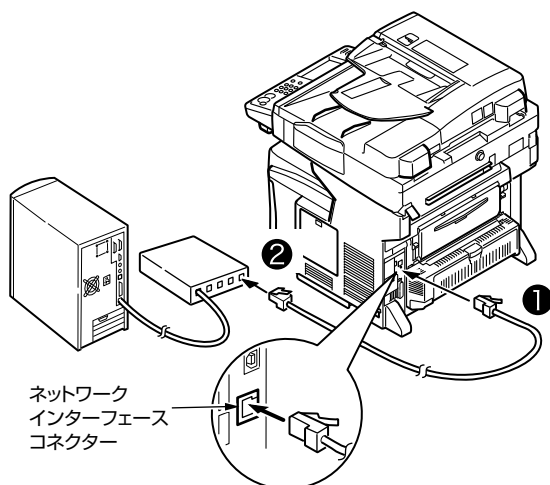
! 注

- イーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

2 本機をネットワークに接続します。

(1) イーサネットケーブルを本機のネットワークインターフェースコネクターに差し込みます。

(2) イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

参照

- 本機を接続するネットワークに DHCP サーバーなどがある場合、電源を入れ直す度に IP アドレスが新たに設定されます。本機の IP アドレスが変更された場合は、ネットワークの再設定を行ってください。OKI LPR ユーティリティを使用すると、本機の IP アドレスが変更されたとき、自動的にネットワークの再設定が行われます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェア編「OKI LPR ユーティリティ」の「IP アドレスを自動的に設定する」をご覧ください。

USB ケーブルを接続する

1 USB ケーブルを準備します。

! 注

- USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

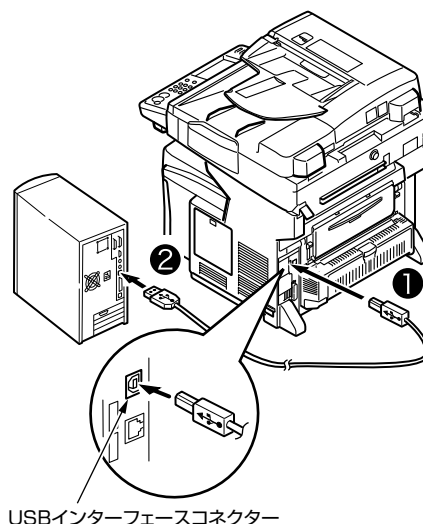
2 USB ケーブルを接続します。

(1) USB ケーブルを本機の USB インターフェースコネクターに差し込みます。

! 注

- USB ケーブルをネットワークインターフェースコネクターに差し込まないよう注意してください。故障の原因となります。

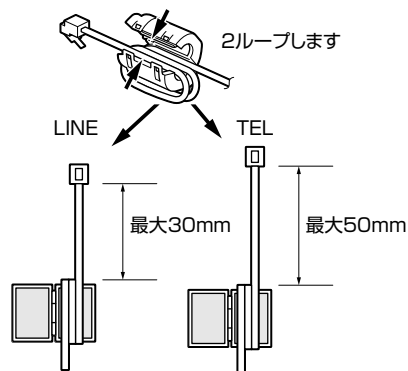
(2) USB ケーブルをコンピューターの USB インターフェースコネクターに差し込みます。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

電話線に接続する

お使いの環境によって、電話線ケーブルの接続のしかたが異なります。次の図を参考に、ご自身の環境に合うように接続してください。

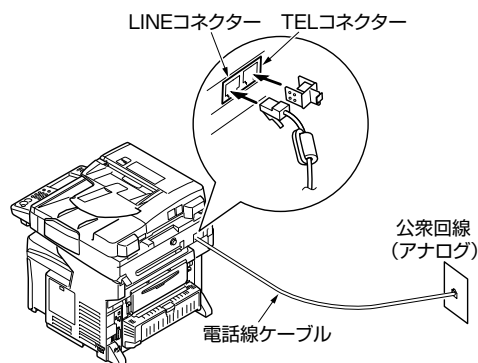
注

- ISDN 回線には接続できません。ISDN 回線に接続するためには、ターミナルアダプタ（TA）を使用し、本機の LINE コネクターに接続してください。
- 必ず添付の電話線ケーブルを使用してください。添付以外の電話線ケーブルを使用すると誤作動することがあります。

1 電話線にフェライトコアを取り付けます。

2 お使いの環境に合った接続を行います。

- 公衆回線に接続する場合
（ファクス専用（本機に電話機を接続しない場合）として使う場合）

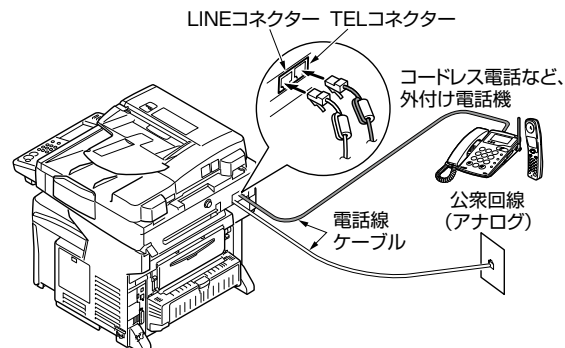
電話線ケーブルを本機の「LINE コネクター」に差し込みます。

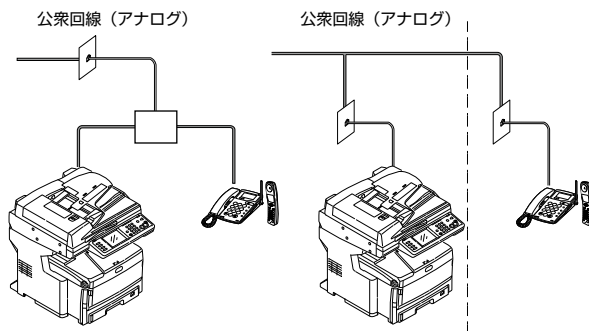
本機の添付品のカバーを「TEL コネクター」に差し込みます。

注

- 誤って［TEL コネクター］に差し込まないようにしてください。

- 公衆回線に接続する場合
（本機に電話機を接続する場合）

公衆回線（アナログ）に繋いだ電話線ケーブルを「LINE コネクター」に差し込みます。

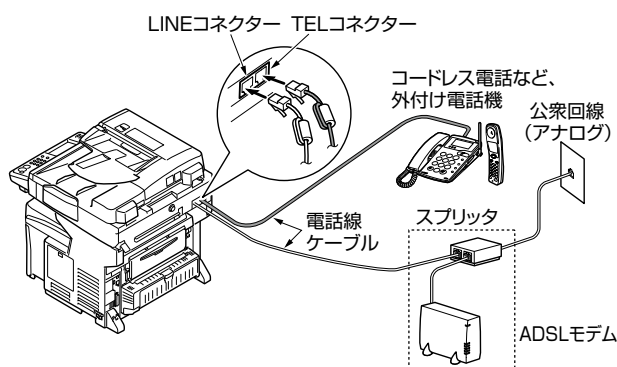
外付け電話機の電話線ケーブルを「TEL コネクター」に差し込みます。

注

- 本機の TEL コネクターに接続できる電話機は 1 台のみです。
- 本機と電話機は、ブランチ接続（並列接続）しないでください。ブランチ接続（並列接続）すると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
  - ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）している電話機の受話器を上げると、ファクス画像が乱れたり通信エラーが起きることがあります。
  - 電話がかかってきた場合は、ベルのなり遅れや途中で止まったり、ファクスが送信された場合は、ファクスを受信できないことがあります。

メモ

- 直接配線の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

● ADSL 環境に接続する場合

ADSL モデムに繋いだ電話線ケーブルを「LINE コネクター」に差し込みます。外付け電話機の電話線ケーブルを「TEL コネクター」に差し込みます。

メモ

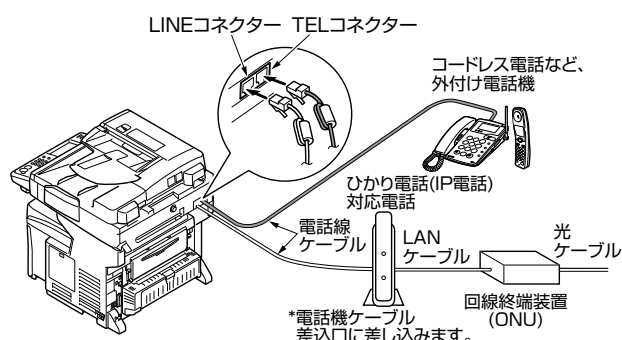
- ダイヤルしない（発信しない）場合は、[**ダイヤルトーン検出**] を［**OFF**］にしてください。詳しくは基本操作編「ダイヤルトーン演出を設定する」を参照してください。
- ファクシミリの送受信ができない場合、[**スーパー G3**］を［**OFF**］にしてください。詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「［管理者設定］を押したとき」の「設置モード」を参照してください。

● ひかり電話（IP 電話）に接続する場合

ひかり電話（IP 電話）対応電話につないだ電話線ケーブルを「LINE コネクター」に差し込みます。

外付け電話機の電話線ケーブルを「TEL コネクター」に差し込みます。

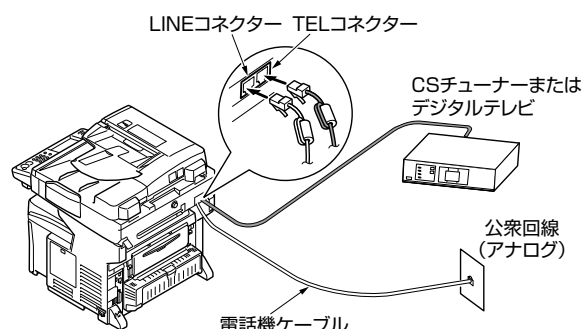
注

- スーパー G3 で通信する場合、プロバイダーの通信品質が保証されていることをご確認ください。

メモ

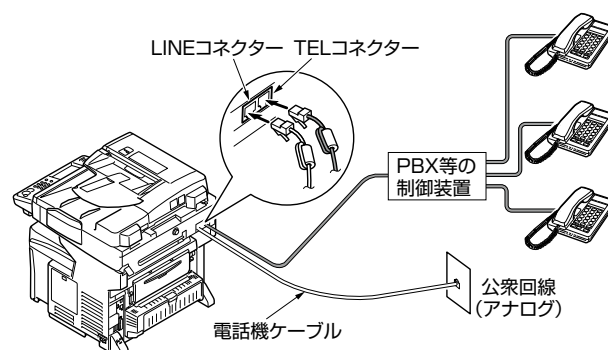
- ダイヤルしない（発信しない）場合は、[**ダイヤルトーン検出**] を［**OFF**］にしてください。詳しくは基本操作編「ダイヤルトーン演出を設定する」を参照してください。
- ファクシミリの送受信ができない場合、[**スーパー G3**］を［**OFF**］にしてください。詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「［管理者設定］を押したとき」の「設置モード」を参照してください。

● CS チューナーやデジタルテレビを接続する場合

公衆回線（アナログ）に繋いだ電話線ケーブルを「LINE コネクター」に差し込みます。

CS チューナーまたはデジタルテレビに繋いだ電話ケーブルを「TEL コネクター」に差し込みます。

● 構内交換機（PBX）、ホームテレフォン、ビジネスホンを接続する場合

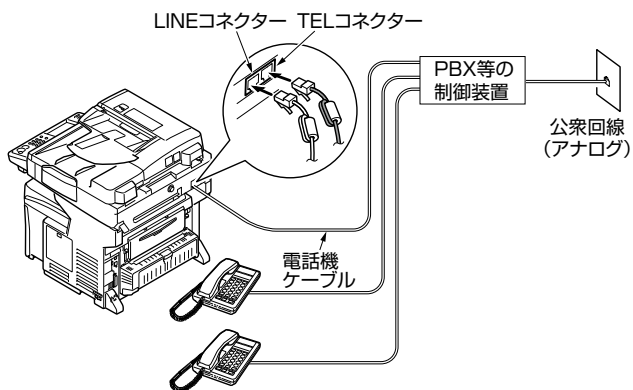
公衆回線（アナログ）に繋いだ電話線ケーブルを「LINE コネクター」に差し込みます。

PBX 等の制御装置に繋いだ電話線ケーブルを「TEL コネクター」に差し込みます。

メモ

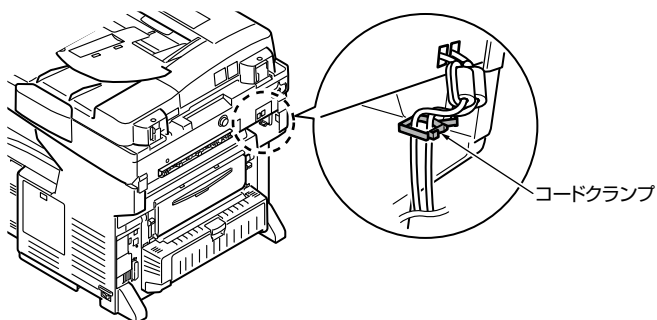
- ホームテレフォンとは、電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線電話やドアフォンも使用できる家庭用の簡易交換機です。
- ビジネスフォンとは、電話回線 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線電話などもできる簡易交換機です。

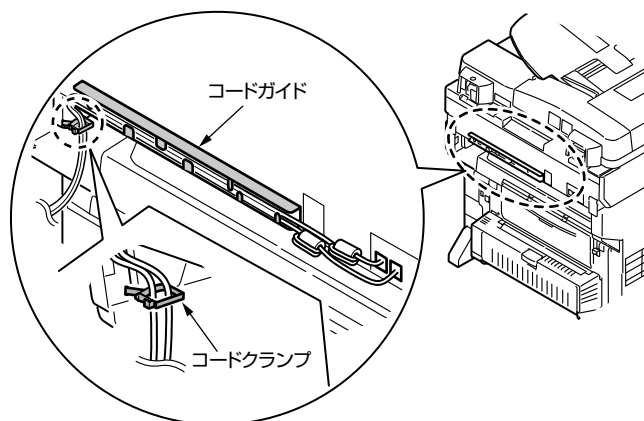
● 内線電話として接続する場合

PBX 等の制御装置に繋いだ電話線ケーブルを「LINE コネクター」に差し込みます。

本機の添付品のカバーを「TEL コネクター」に差し込みます。

3 ケーブル類をまとめます。

● 右側にケーブル類をまとめるとき

右側のコードクランプに、ケーブル類をまとめます。

● 左側にケーブル類をまとめるとき

ケーブル類をコードガイドに通し、左側のコードクランプにまとめます。

機器単体で動作を確認する

参照

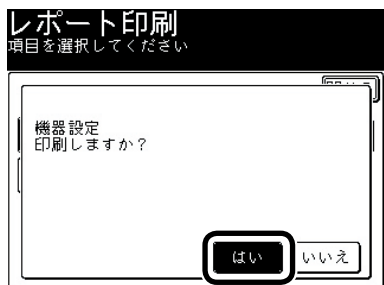
● 電源を入れる方法については、「電源を入れる」（P.53）を参照してください。

テスト印刷する

印刷できるか確認します。

1 <レポート印刷>キーを押します。

2 ［機器設定］を押します。

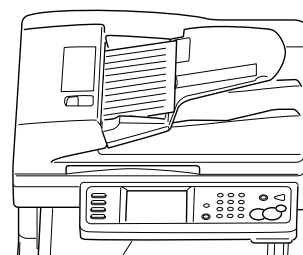
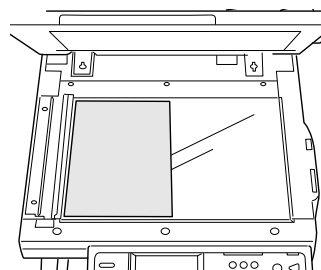
3 確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

コピー動作を確認する

本機のコピー動作を確認します。

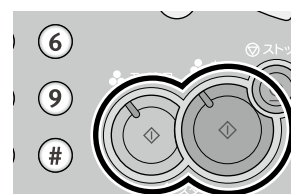
メモ

● 次の手順では、工場出荷時の設定を使用しています。
● <コピー>キーを押して、コピー画面に切り替えておきます。

1 原稿をセットします。

● 自動原稿送り装置のとき
原稿を表にして、先頭ページが 1 番上になるようにセットします。

● ガラス面のとき
原稿を裏にして、原稿の角が左手奥側のセット基準に合うようにセットします。

参照

● 「原稿について」（P.76）をご覧ください。

2 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

コピーが始まります。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

3

電源を入れる / 切る

電源についての注意事項

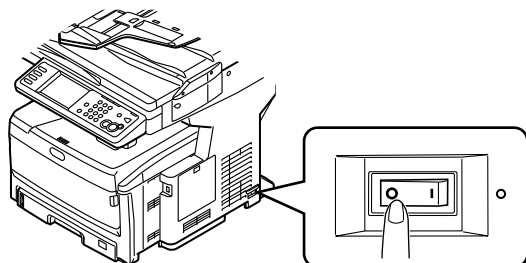
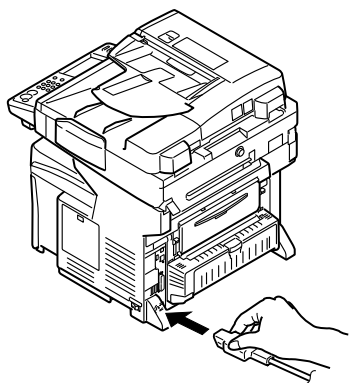
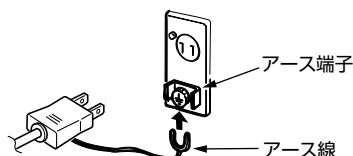
⚠警告	火災や感電のおそれがあります。	

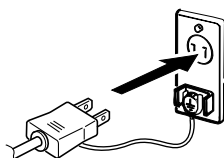
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグに電源を繋ぐ前に行ってください。また、アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本機と他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによって本機が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本機に使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、正常に動作しない場合があります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）： 100V ± 10%
  電源周波数： 50Hz または 60Hz ± 2%
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本装置の最大消費電力 1300W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS（無停電電源）やインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターは使用しないでください。

電源を入れる

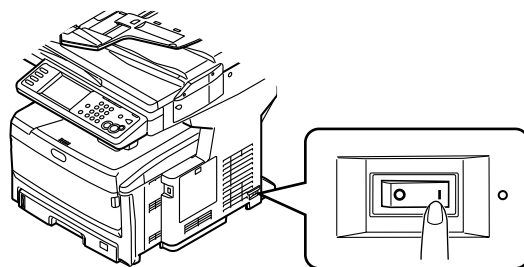
1 電源コードを接続します。

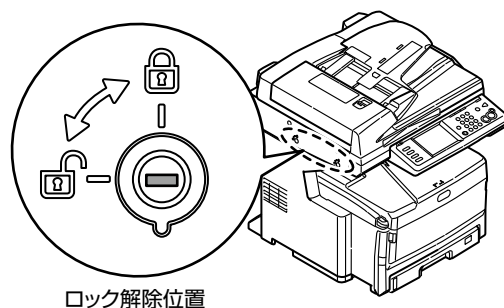
(1) 電源スイッチが OFF（O）になっていることを確認します。

(2) 電源コードを本機に差し込みます。

(3) アース線をコンセントのアース端子に接続します。

⚠注意	感電のおそれがあります。	⚠
● 必ずアース線を接続してください。		

(4) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチを入れます。

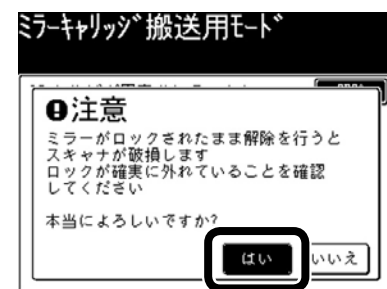
(1) 原稿台に原稿がないことを確認します。

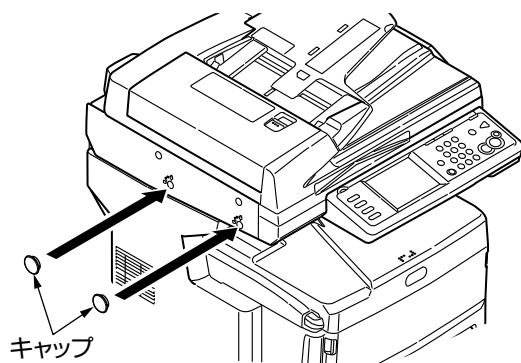
(2) 自動原稿送り装置の原稿トレイに原稿がないことを確認します。

(3) 電源スイッチの ON（I）を押します。

3 キャリッジ搬送モードを解除します。

(1) 本機の側面のロック（2 ヶ所）が解除されていることを確認します。
ネジが下のイラストの位置にあるときは、ロックが解除されています。

ロック解除位置

(2) 操作パネルに下の画面が表示されたら、［解除］を押します。

(3) ［はい］を押します。

(4) 待機画面が表示され、使用できるようになります。

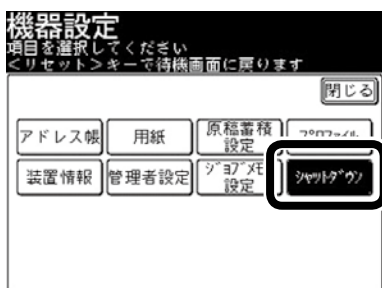
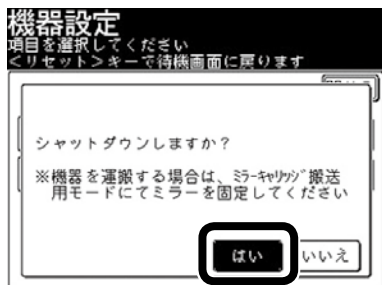
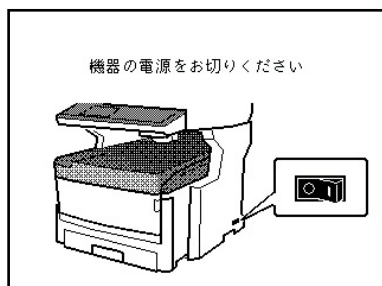
(5) ロック部の穴（2 ヶ所）にキャップをします。

電源を切る

電源を切るときは、必ず以下の手順で行ないます。

! 注

- いきなり電源スイッチを OFF にしないでください。装置が故障する恐れがあります。

1 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

2 ［シャットダウン］を押します。

3 ［はい］を押します。

4 下の画面が表示されたら、電源スイッチを OFF にします。

メモ

- 手順 1 で、<機器設定>キーを押さずに、<節電>キーを 5 秒以上押すと、手順 3 の画面を表示します。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる/切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

本機を使用していないときの消費電力を抑える（節電モード）

しばらく本機を使用しないと、機器の消費電力を押さえる節電モードに入ります。節電モードを解除したり、節電モードに入ったりするには<節電>キーを使用します。

■節電モード（パワーセーブモード）

- <節電>キーを押すと、節電モードになります。
- ５分間機械を使わないと、自動的に節電モードに入ります。

参照

- 節電モードに入るまでの時間を変更したいときは、<機器設定>キー押し、[管理者設定] -[機器管理] -[節電モード] -[パワーセーブ移行時間] で設定します。詳しくは便利な機能 / 本体の設定編「節電モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を設定する」をご覧ください。

- 節電モード中でも、原稿読み取り済みのメモリー送信や受信原稿の印刷は可能です。
- 節電モードのとき、着信ベル回数は設定した値より長くなります。
- 節電モード中は<節電>キーが赤色に点灯します。
- 節電モード中に<節電>キーを押すと、通常の待機状態に戻ります。

! 注

- エラーが発生している場合（例えば、「トナーがなくなりました」と表示しているときなど）は、<節電>キーは無効です。

メモ

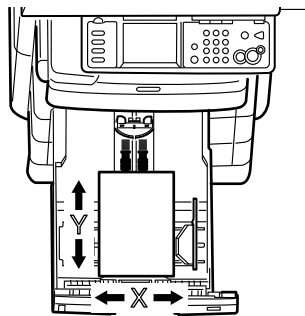
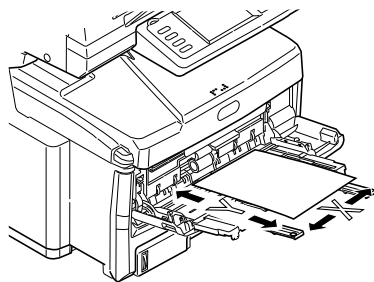
- 節電モードを解除するときに、ガラス面に原稿をセットしたままになっていると、原稿サイズが正しく認識できませんので、原稿台カバーの開閉を行ってください

4 用紙について

用紙について

用紙の幅と長さ

用紙の大きさを表す場合、X 辺を幅、Y 辺を長さと呼びます。

● 用紙トレイ

● MP トレイ

使用できる用紙の種類

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

■ 用紙の種類、サイズ、厚さについて

注

● 用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があります。

種類	サイズ　単位：mm（インチ）		厚さ
普通紙	A3	297 × 420	64-200g/m2（連量 55-172kg） 両面印刷の場合は、64-105g/m2（連量 55-90kg)。使用できる用紙サイズは､｢A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル (13 インチ)、リーガル (13.5 インチ)、リーガル (14 インチ)、エグゼクティブ、タブロイド」です。
	A4	210 × 297	
	A5	148 × 210	
	A6	105 × 148	
	B4	257 × 364	
	B5	182 × 257	
	レター	215.9 × 279.4（8.5 × 11）	
	リーガル (13 インチ)	215.9 × 330.2（8.5 × 13）	
	リーガル (13.5 インチ)	215.9 × 342.9（8.5 × 13.5）	
	リーガル (14 インチ)	215.9 × 355.6（8.5 × 14）	
	エグゼクティブ	184.2 × 266.7（7.25 × 10.5）	
	タブロイド	279.4 × 431.8 (11 × 17)	
	カスタム	幅 64 ～ 297 長さ 105 ～ 1200	64-200g/m2（連量 55-172kg）
はがき	はがき	100 × 148	郵便はがき
	往復はがき	148 × 200	
封筒	封筒 (長形３号)	120 × 235	85g/m2 の紙を使用したもの
	封筒 (洋形０号)	120 × 235	
	封筒 (洋形４号)	105 × 235	
	封筒 (角形２号)	240 × 332	
	封筒 (角形３号)	216 × 277	
	Com-10	104.8 × 241.3（4.125 × 9.5）	24lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	DL	110 × 220（4.33 × 8.66）	
	C5	162 × 229（6.4 × 9）	
	C4	229 × 324（9 × 12.8）	
ラベル紙	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2 ㎜
	レター	215.9 × 279.4（8.5 × 11）	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		64-200g/m2（連量 55-172kg）
カラー用紙	普通紙に準じます。		64-200g/m2（連量 55-172kg）
OHP フィルム	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.125mm
	レター	215.9 × 279.4（8.5 × 11）	
インデックスカード	インデックスカード	76.2 × 127（3 × 5）	

■ 普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：OKI カラーページプリンタ用紙 エクセレントホワイト A4（型名：PPR-CA4NA), A3（型名：PPR-CA3NA）
  プリンタードライバーの用紙厚の設定：[普通紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[普通紙]
  用紙厚 ：[普通紙]
- 両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）（型名：PPR-CA4DA）, A3（厚口）（型名：PPR-CA3DA）
  プリンタードライバーの用紙厚の設定：[厚い紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[普通紙]
  用紙厚 ：[厚い紙]
- 弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
- 用紙の厚さが連量 64 ～ 200g/m^2（55 ～ 172kg）の用紙
- 電子写真プリンター用紙（トナーを用いるプリンターで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンター用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンター再生紙（トナーを用いるプリンターで使用する再生紙です）（グリーン購入法に適合した電子写真プリンター用再生紙に対応しています。）
  再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンター再生紙であることを確認の上、使用してください。

注

- 再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンター再生紙であることを確認の上、使用してください。
- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- MPトレイで印刷するとシワが出ることがあります。このような場合は用紙カセットから給紙してください。
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンター等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

■ はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

注

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

■ 封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンター用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85g/m^2 の紙を使用した封筒

注

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 角形 2 号封筒は手差しで印刷します。

■ ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙： LBP-F7xxx（コクヨ製）（総厚：0.1 ～ 0.2mm）
  プリンタードライバーの用紙厚の設定：[ラベル紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[ラベル紙]
  用紙厚：[より厚い紙]
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンター用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンターの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙

- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

注
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

■ 部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

注
- 印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（82g/m^2（連量 70kg）の場合）
- インクの上に印刷することはできません。

■ カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンター用の用紙

■ OHP フィルム

次の条件に合った OHP フィルムを使用してください。

- 推奨紙： ML カラー OHP シート MLOHP01
プリンタードライバーの用紙厚の設定：[OHP シート]
操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[OHP]
用紙厚：設定不要
- 用紙サイズは A4、レターのみ使用できます。
- 電子写真プリンター用または乾式 PPC 用に作られた OHP フィルム
- プリンターの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP フィルム
- 用紙の厚さが 0.1 ～ 0.125mm の OHP フィルム

注
- OHP フィルムは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをした OHP フィルムは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外の OHP フィルムを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラーに巻きついたりし、装置が故障するおそれがあります。
- OHP 装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

■ 長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト
A4 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙 ,110kg, 型名：PPR-CT4DA）
A3 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙 ,110kg, 型名：PPR-CT5DA）
プリンタードライバーの用紙厚の設定：[より厚い紙]
操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[普通紙]
用紙厚：[より厚い紙]
- 用紙サイズは幅 210 ～ 297mm、長さ 356 ～ 1200mm　128g/m^2（連量 110kg）

注
- 長尺用紙にコピーすることはできません。
- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンター等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 128g/m^2（連量 110kg）以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

用紙種類ごとに選択できる給紙方法と排出方法

◎：片面、両面印刷とも使用できます

○：片面印刷のみ使用できます

◬：一部のサイズで使用できます(片面印刷、両面印刷とも)

△：一部のサイズで使用できます(片面印刷のみ)

×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙トレイ *1		MP トレイ 手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2 トレイ 3			
普通紙	64-82g/m2 (連量 55-70kg)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		タブロイド	×	×	◎	◎	◎
		カスタム *3	◬ *4	◬ *5	◬	◬	◬ *4
	83-105g/m2 (連量 71-90kg)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		タブロイド	×	×	◎	◎	◎
		カスタム *3	◬ *4	◬ *5	◬	◬	◬ *4
	106-120g/m2 (連量 91-103kg)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		タブロイド	×	×	○	○	○
		カスタム *3	△ *4	△ *5	○	○	△ *4

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙トレイ *1		MP トレイ 手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2 トレイ 3			
普通紙	121-176g/m^2 (連量 104-151kg)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○	○
		A6	×	×	○	○	×
		タブロイド	×	×	○	○	○
		カスタム *3	×	△ *5	○	○	△ *4
	177-200g/m^2 (連量 152-172kg)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	×	×	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		タブロイド	×	×	○	○	×
		カスタム *3	×	×	○	○	×
はがき *6	ー	はがき， 往復はがき	×	×	○	○	×
封筒 *6	ー	封筒 (長形 3 号) 封筒 (洋形 0 号) 封筒 (洋形 4 号) 封筒 (角形 2 号) 封筒 (角形 3 号) Com-10, DL C5, C4	×	×	○	○	×
ラベル紙 *6	ー	A4	×	×	○	○	×
OHP フィルム	ー	A4, レター	×	×	○	○	×
インデックスカード		インデックスカード	×	×	○	○	×

*1： 上から順にトレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 となります。

*2： MC852dn/MC862dn ではトレイ 2、トレイ 3 はオプションです。

*3： カスタムは幅 64 ～ 297mm、長さ 105 ～ 1200mm です。両面印刷可能なサイズは幅 148 ～ 297mm、長さ 182 ～ 431mm です。

*4： 幅 105 ～ 297mm、長さ 148mm、182 ～ 431mm です。

*5： 幅 148 ～ 297mm、長さ 182 ～ 431mm です。

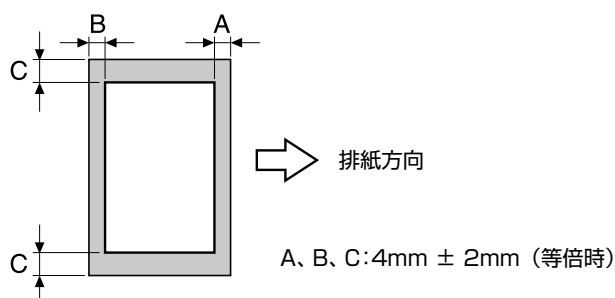
*6： はがき、封筒、ラベル紙を設定すると印刷速度が遅くなります。

注

- 用紙をトレイに縦( )にセットした場合、横( )にセットしたときより印刷速度が遅くなります。
- 用紙サイズを A6、A5 サイズおよび用紙幅が 148mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。
- 操作パネルで用紙サイズを［カスタム］に設定したときは、用紙トレイの［用紙サイズダイヤル］の設定は無効になります。

用紙の印刷可能領域

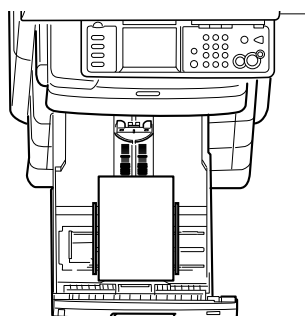
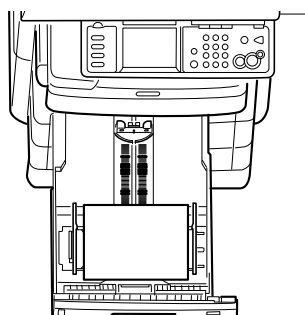
以下に示す領域の画像は印刷されませんので注意してください。

用紙の先端より 4mm ± 2mm(等倍時)のエリア(A)
用紙の後端より 4mm ± 2mm(等倍時)のエリア(B)
用紙の端より 4mm ± 2mm（等倍時）のエリア（C）

使用できない用紙

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 表面が平滑(すべすべ)すぎる用紙、粗い(ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙（縦送り印刷で使用しないでください）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 高温多湿により波打ちが発生した紙
- 絹目加工（シボ)、浮き出し加工（エンボス)、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・スターチ・薬品などで特殊加工、耐熱性（230 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンター用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき
- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒

、記号について

記号は、用紙を装置正面から見て縦に置くことを表します。

記号は、用紙を装置正面から見て横に置くことを表します。

用紙の保管

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

■次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50% RH の環境

■次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

注

- 長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

用紙のセットのしかた

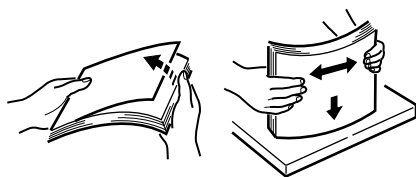
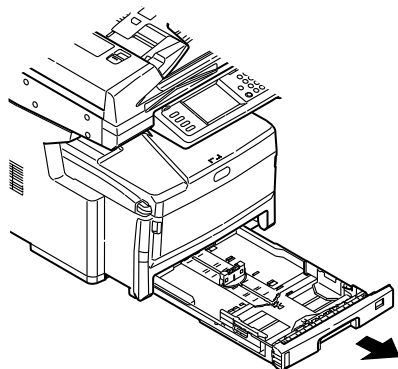
用紙トレイに用紙をセットする

用紙トレイにセットできる用紙は普通紙のみです。

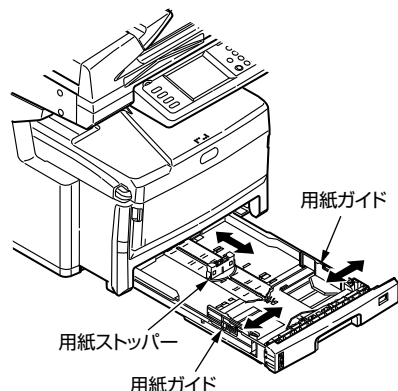
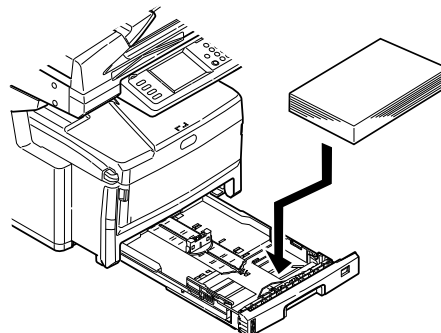
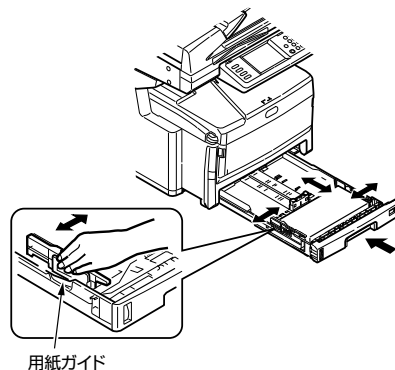
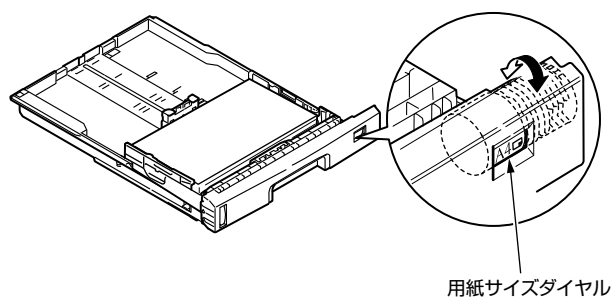
用紙トレイへの用紙のセットは、以下の手順で行います。用紙をセットした後、操作パネルで用紙の種類、厚さを設定します。

参照

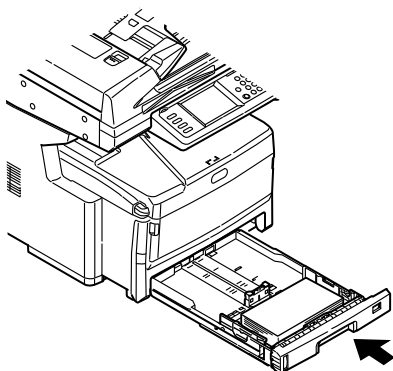
● 普通紙以外の用紙については、「MP トレイ（マルチパーパストレイ）に用紙をセットする」（P.68）をご覧ください。

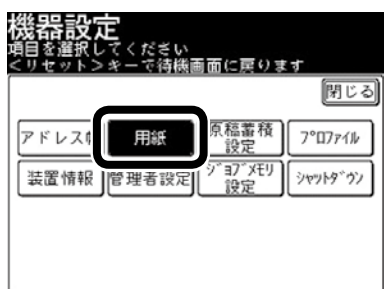
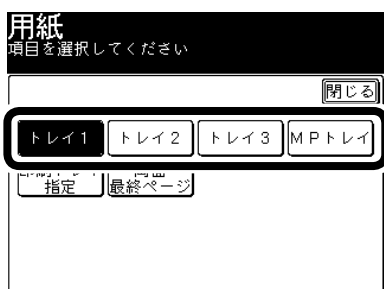
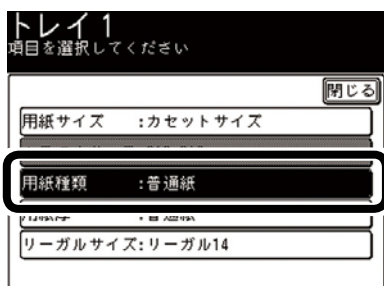
1 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

2 用紙トレイを引き出します。

注

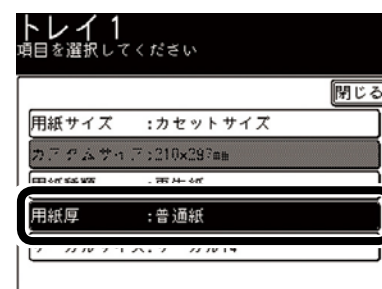
● プレートについているコルクははがさないでください。

3 用紙ガイド、用紙ストッパーをセットする用紙に合わせ、確実に固定します。

4 用紙の印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。

5 用紙ガイドを確認し、用紙を固定します。

6 セットした用紙と同じサイズを表示するように、用紙サイズダイヤルを合わせます。

注

● セットした用紙の向きと合わせてください。

7 用紙トレイを元の位置に戻します。

8 操作パネルの＜機器設定＞キーを押します。

9 ［用紙］を押します。

10 用紙をセットしたトレイを押します。

11 ［用紙種類］を押します。

12 該当する用紙種類を押し、［確定］を押します。

13 ［用紙厚］を押します。

14 該当する用紙厚を押し、［確定］を押します。

15 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

メモ

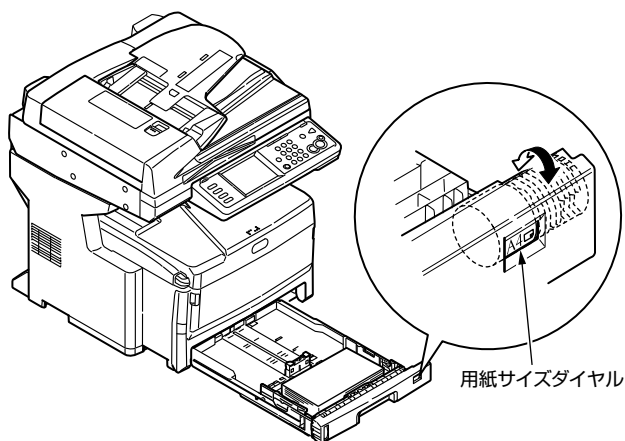
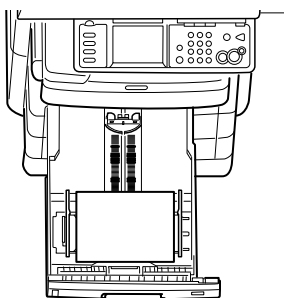
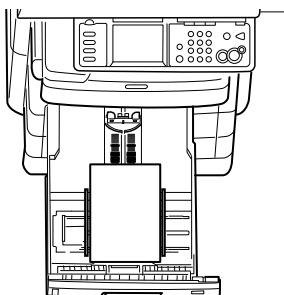
- ＜リセット＞キーを押しても、待機画面に戻ります。

はじめに　1 製品を確認する　2 本機を設置する　3 電源を入れる／切る　4 用紙について　5 原稿について　6 操作パネルを使用して文字を入力する　7 各機能を使用する　索引

用紙サイズダイヤルを合わせる

トレイ 1、トレイ 2/3（MC852dn/MC862dn ではオプション）に用紙をセットしたら、用紙の向きと一致するように記号を合わせます。

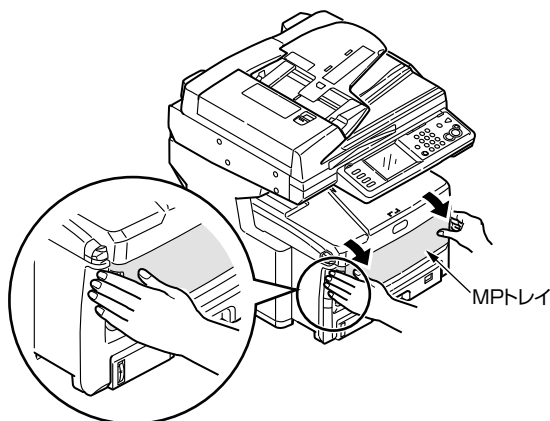
は、用紙を機械正面から見て横に置くことを表します。

は、用紙を機械正面から見て縦に置くことを表します。

● を選択するとき

● を選択するとき

MP トレイ（マルチパーパストレイ）に用紙をセットする

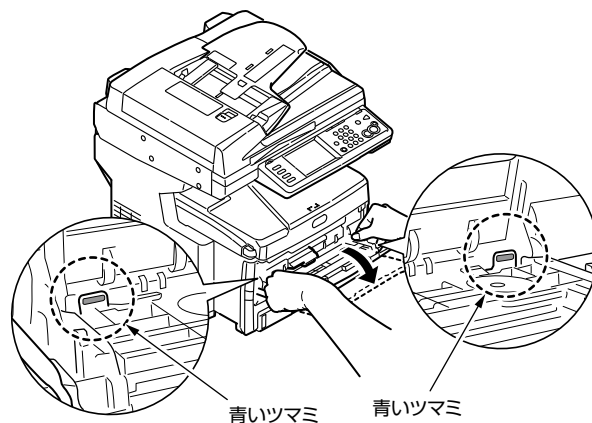
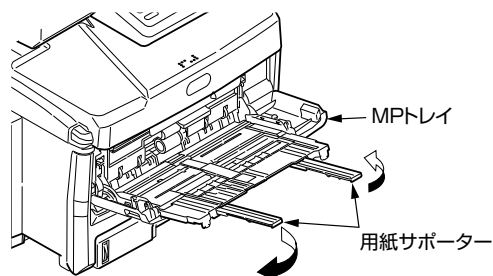
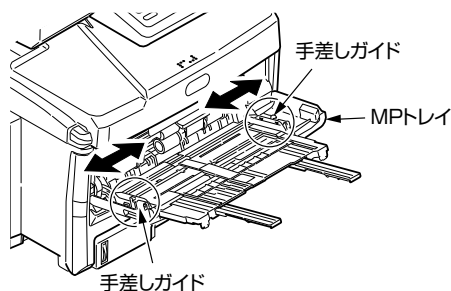
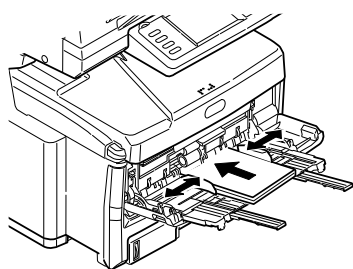
普通紙、はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙に印刷したいときは MP トレイを使用します。セットした用紙の上面に印字されます。用紙をセットした後、操作パネルで用紙サイズ、種類、厚さを設定します。

参照

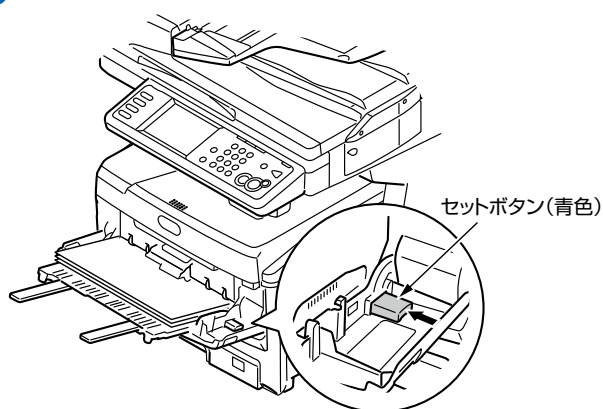
● カスタムサイズの用紙をセットする場合は、サイズの登録が必要です。「カスタムサイズ（不定形用紙）を登録する」（P.72）をご覧ください。

1 MP トレイの両側を持ち、手前に開きます。

2 青いツマミを持ち、手前に広げます。

3 用紙サポーターを広げます。

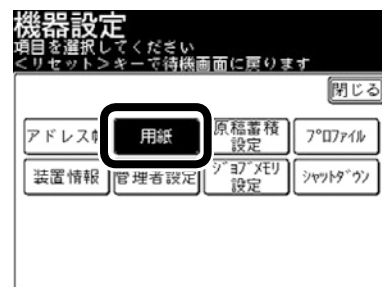
はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

4 手差しガイドを用紙の幅に合わせます。

5 印字する面を上にして用紙の先端を奥まで差し込みます。

注

- 用紙は▼マークをこえないようにセットしてください。（82g/m^2（連量 70kg）紙で 100 枚までセットできます。）

6 セットボタン（青色）を押します。

注

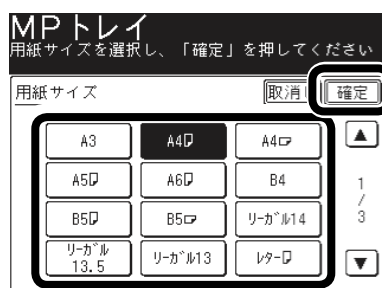
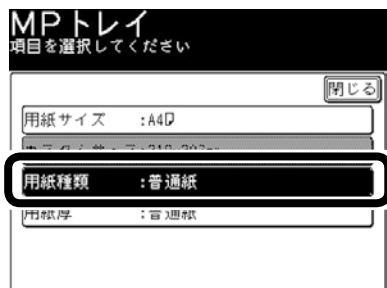
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- MPトレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

7 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

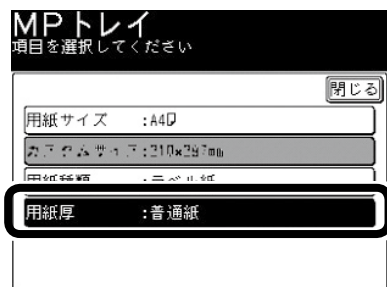
8 ［用紙］を押します。

9 ［MP トレイ］を押します。

10 ［用紙サイズ］を押します。

11 該当する用紙サイズを押し、［確定］を押します。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

12 ［用紙種類］を押します。

13 該当する用紙種類を押し、［確定］を押します。

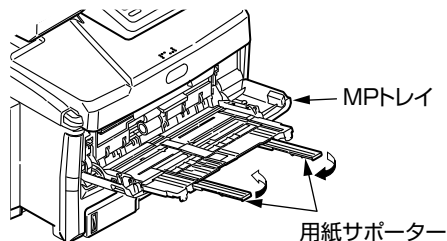
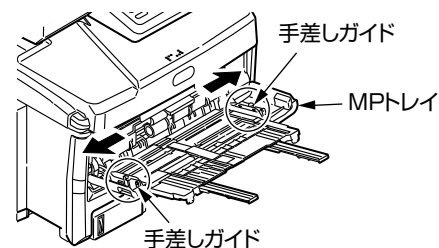
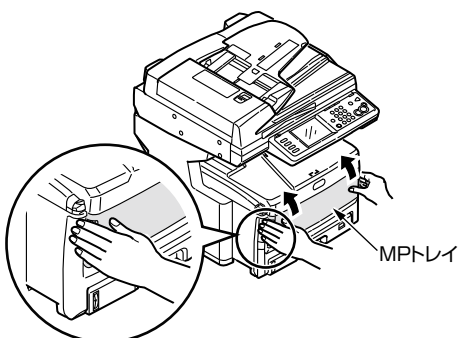
14 ［用紙厚］を押します。

15 該当する用紙厚を押し、［確定］を押します。

16 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

メモ

- <リセット>キーを押しても、待機画面に戻ります。

17 印刷終了後、MP トレイを閉じます。

(1) 用紙サポーターを格納します。

(2) 手差しガイドを端まで広げます。

(3) MP トレイを畳み、本体に戻します。

トレイ設定を行う

セットした用紙に合わせて、下の表を参考に、操作パネルで用紙種類、用紙厚を設定します。

設定は、<機器設定>キーを押し、[用紙] - [用紙をセットしたトレイ] - [用紙種類] または [用紙厚] で行います。

種類	厚さ	操作パネルの設定値		プリンタードライバーの [用紙厚] の設定 *2
		用紙厚	用紙の種類 *1	
普通紙 *3	64 ～ 82g/m² (55 ～ 70kg)	普通紙	普通紙	普通紙
	83 ～ 105g/m² (71 ～ 90kg)	厚い紙		厚い紙
	106 ～ 128g/m² (91 ～ 110kg)	より厚い紙		より厚い紙
	129 ～ 200g/m² (111 ～ 172kg)	ごく厚い紙		ごく厚い紙
はがき *4	―	―	―	―
封筒 *4	―	―	―	―
ラベル紙	0.1 ～ 0.17mm 未満	より厚い紙	ラベル紙	ラベル紙 1
	0.17 ～ 0.2mm	ごく厚い紙		ラベル紙 2
OHP フィルム	―	―	OHP	OHP シート

*1： 用紙種類の工場出荷時の設定は [普通紙] です。

*2： 用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタードライバーで設定することができます。プリンタードライバーで設定した場合は、プリンタードライバー設定が優先されます。プリンタードライバーの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。

*3： 両面印刷できる用紙の厚さは 64-105g/m² (連量 55-90kg) です。

*4： はがき、封筒は、設定の必要はありません。

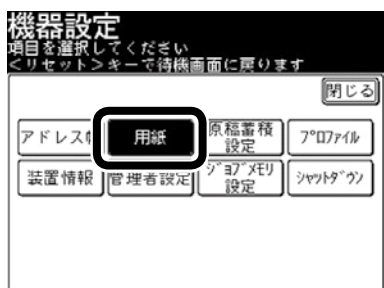
メモ

- 用紙厚の [より厚い紙]、[ごく厚い紙]、用紙種類の [ラベル紙] を設定すると、印刷速度が遅くなります。

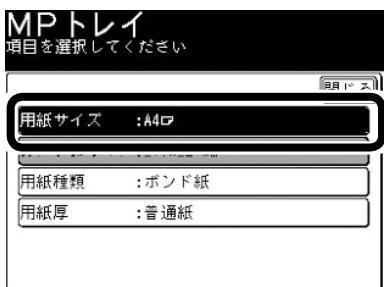
カスタムサイズ（不定形用紙）を登録する

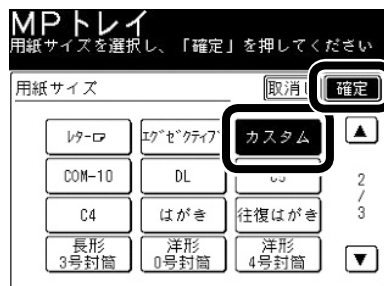
カスタムサイズを使用する場合は、ここで用紙の幅と長さを設定します。

1 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

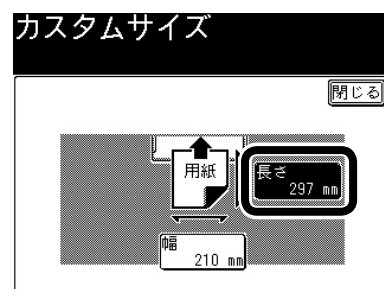
2 ［用紙］を押します。

3 ［MPトレイ］を押します。

ここでは MPトレイの場合を例にしています。

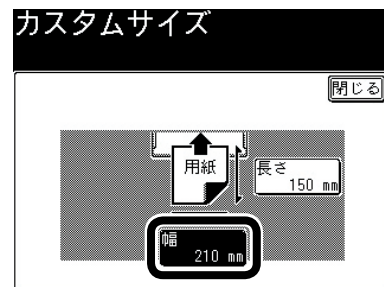
4 ［用紙サイズ］を押します。

5 ［▼］を押し、MP トレイ 2/3 画面を表示します。

6 ［カスタム］を選択し、［確定］を押します。

7 ［カスタムサイズ］を押します。

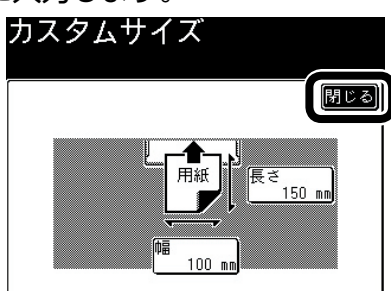
8 カスタムサイズの長さと幅を設定します。

(1) ［長さ］を押します。

(2) テンキーまたはカーソルキーで長さを入力します。

(3) 長さを入力後、［確定］を押します。

(4) ［幅］を押します。

(5) テンキーまたはカーソルキーで幅を入力します。

(6) 幅を入力後、［確定］を押します。

9 ［閉じる］を押します。他のカスタムサイズも同様に入力します。

メモ

- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

給紙トレイの自動切り替えについて（自動給紙切り換え機能）

印刷中に、現在選択中の給紙トレイの用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙で同じ種類の用紙が他のカセットにセットされていれば、自動的にカセットを切り替えて印刷を続けます。

増設トレイユニットを装着すれば、最大で 1460 枚の連続印刷や連続コピーを行うことができます。（A4 用紙の場合）

■給紙切り替えの順序

自動給紙切り替え機能が動作する場合、以下の優先順位で用紙トレイが選択されます。

参照

- MPトレイを自動給紙切り替えで使用する場合は、「印刷トレイ指定」の設定が必要です。便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

メモ

- MPトレイに OHP フィルムやラベル用紙などの特殊紙をセットしている場合、自動給紙切り替えがはたらき、誤って給紙される恐れがあります。このような場合、用紙の設定で、用紙の種類を普通紙以外、または再生紙以外に設定をしておくことをおすすめします。「用紙トレイに用紙をセットする」（P.66）の手順 8 ～ 11 をご覧ください。

❑ コピー、受信ファクスを印刷しているとき

トレイ 1 ⇒トレイ 2 ⇒トレイ 3 ⇒ MP トレイ

❑ コンピューターから印刷しているとき

現在使用しているトレイを起点とし、［トレイ選択順序］の設定に従います。

参照

- ［トレイ選択順序］については、便利な機能 / 本体の設定編「機器設定画面の設定項目一覧」をご覧ください。

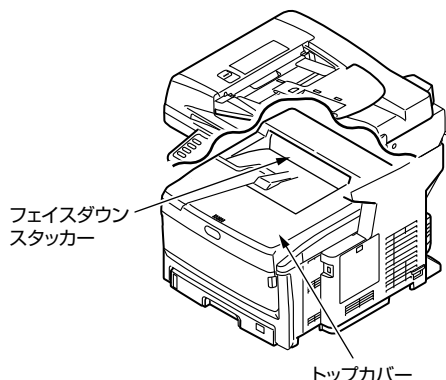
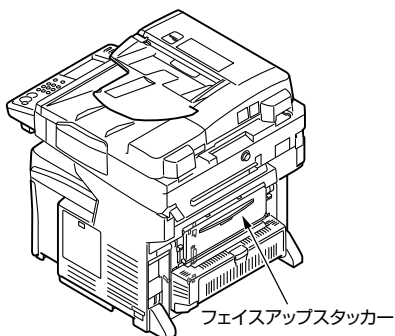
はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

用紙の排出

フェイスダウンスタッカーを使用する

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。

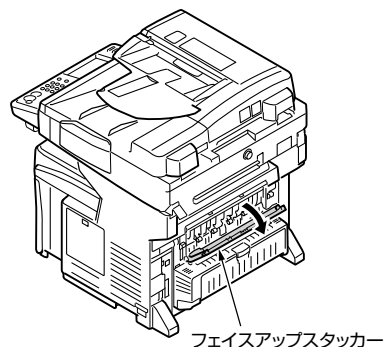
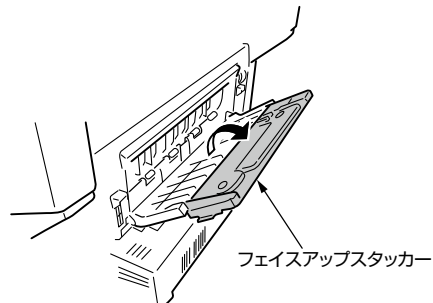
82g/m^2（連量 70kg）紙で約 250 枚をためることができます。

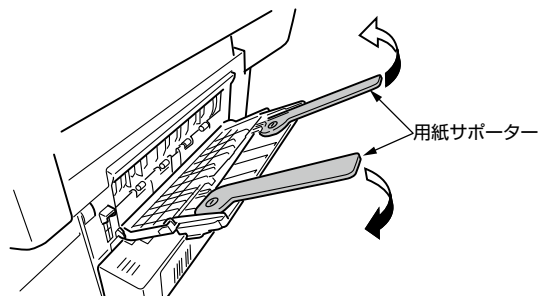
1 本機の背面のフェイスアップスタッカーが閉じていることを確認します。
印刷済みの用紙は、フェイスダウンスタッカーに排出されます。

フェイスアップスタッカーを使用する

A6 サイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルムはフェイスアップスタッカーに排出します。

用紙はフェイスアップスタッカー上に排出され、印刷した順と逆に重なります。

82g/m^2（連量 70kg）紙で約 100 枚をためることができます。

1 本機の背面のフェイスアップスタッカーを手前に開きます。

2 フェイスアップスタッカーを広げます。

3 用紙サポーターを広げます。
印刷済みの用紙は、フェイスアップスタッカーに排出されます。

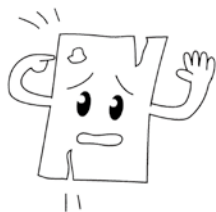
注

- 印刷中にフェイスアップスタッカーを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

5
原稿について

原稿について

原稿の条件

自動原稿送り装置には次のような原稿はセットできません。ガラス面をご利用ください。

- 破れている原稿、穴のあいている原稿

- しわやカールの激しい原稿

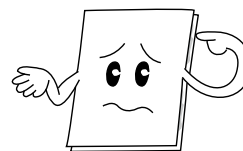
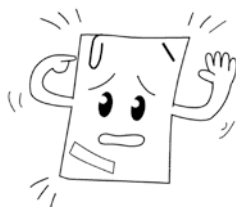
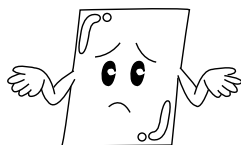
- 湿った原稿

- 静電気で密着した原稿

- 裏がカーボンになっている原稿

- 布地、金属シート、OHP フィルム

- ホチキス、クリップ、セロハンテープなどがついた原稿

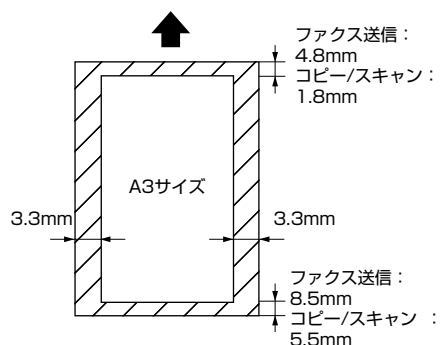
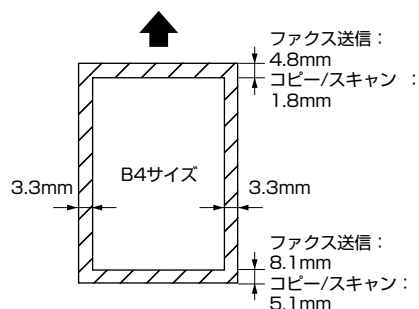
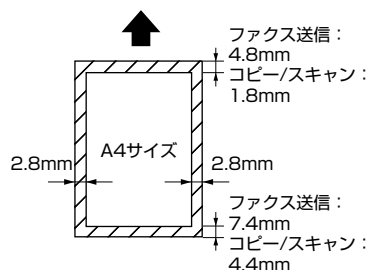
- 張り合わせた原稿、のりがついた原稿

- 光沢のある原稿、特殊コーティングされた原稿

ガラス面に以下のような原稿をセットするときは、ガラスが傷ついたり割れたりする恐れがあります。

- 厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。
- 堅い物を原稿にするときは、ガラス面に静かにおいてください。
- 鋭利な突起があるものは、ガラスを傷つける恐れがあります。

原稿の読み取り可能領域

斜線部分に文字などを書いても、読み取れない場合があります。

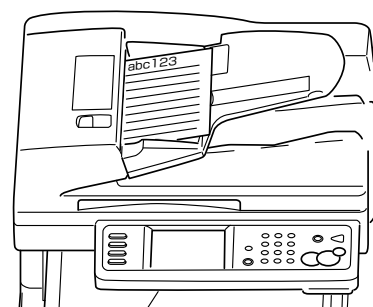
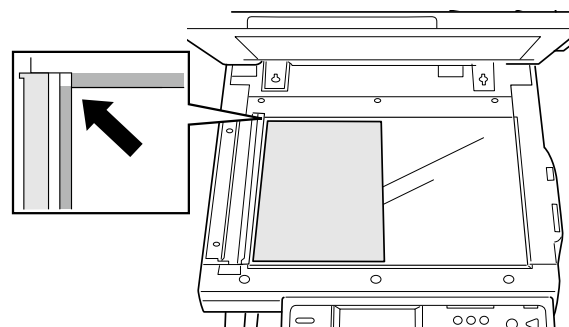
メモ

- 「⬆」は、自動原稿送り装置での送り方向、またはガラス面での読み取り開始側を示します。
  - A3 サイズ

  - B4 サイズ

  - A4 サイズ

、 記号について

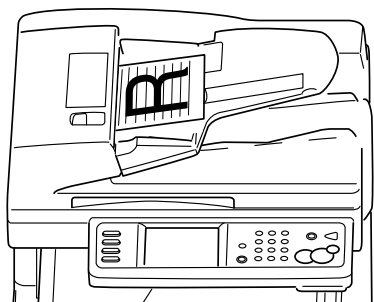
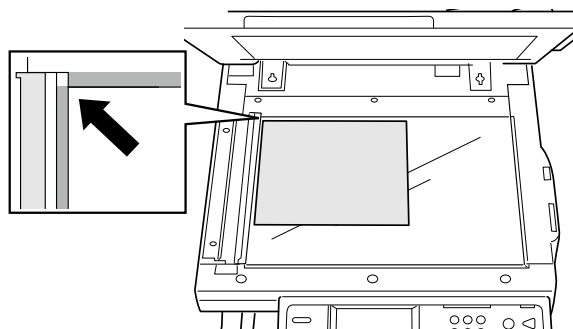
記号は、原稿を本機正面から見て縦に置くことを表します。自動原稿送り装置の場合、原稿の長辺側から挿入します。

記号は、原稿を本機正面から見て横に置くことを表します。自動原稿送り装置の場合、原稿の短辺側から挿入します。

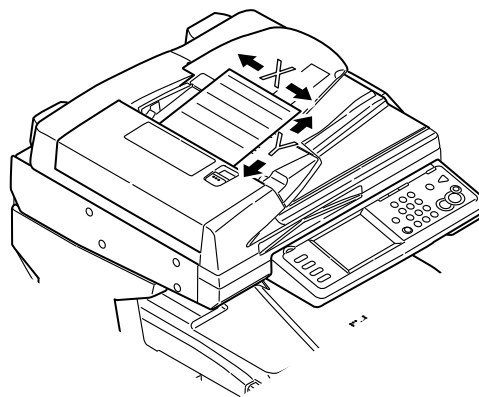
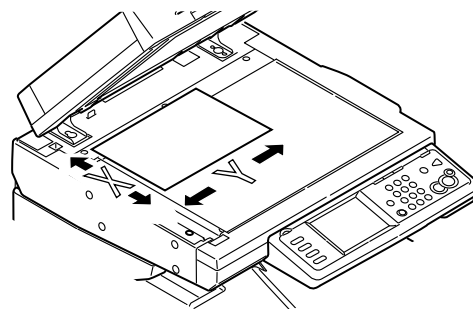
■例：A4

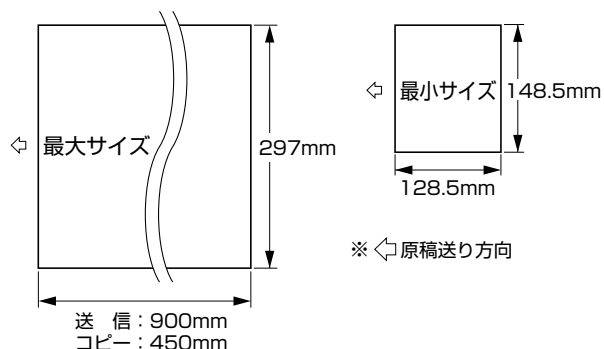
❑ 自動原稿送り装置に原稿をセットするとき

❑ ガラス面に原稿をセットするとき

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

■例：A4

❏ 自動原稿送り装置に原稿をセットするとき

❏ ガラス面に原稿をセットするとき

原稿の幅と長さ

原稿の大きさを表す場合、X 辺を幅、Y 辺を長さと呼びます。

● 自動原稿送り装置

● ガラス面

セットできる原稿サイズ

■ 自動原稿送り装置の原稿サイズ

注

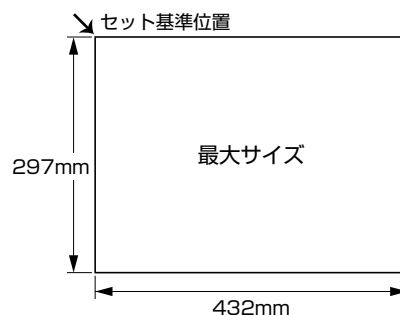
- コピーされるのは 432mm までです。(残り 18mm はコピーされません。)

	1 枚だけ読み取る場合	自動連続読取の場合
最大	幅 297mm ×長さ 900mm (コピーのとき：長さ 450mm)	幅 297mm ×長さ 432mm
最小	幅 148.5mm ×長さ 128.5mm	幅 148.5mm ×長さ 128.5mm
一度のセット枚数 *1	—	A4/ レター (80g/m²)：100 枚 A3 (◀)、B4 (◀)、タブロイド (◀)、リーガル (◀)：30 枚 A4/ レター (80g/m² 以外)、B5、A5、ハーフレター：50 枚
原稿の紙厚	42 ～ 128g/ ㎡ (0.05 ～ 0.15mm)	52 ～ 105g/ ㎡ (0.07 ～ 0.12mm)
原稿の紙質	上質紙相当	

*1 原稿の内容によっては上記のセット枚数以下でもメモリーオーバーになることがあります。

メモ

- 新聞紙の紙厚が 0.05 ～ 0.06mm、郵便はがきが 0.23mm です。

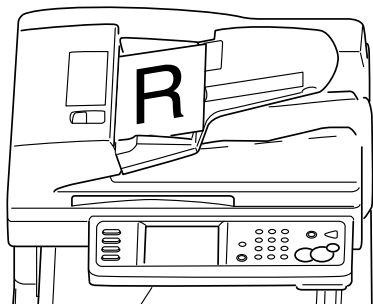
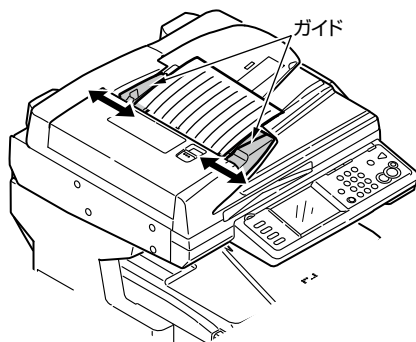
■ ガラス面の原稿サイズ

最大	幅 297mm ×長さ 432mm
最小	制限無し

原稿のセットのしかた

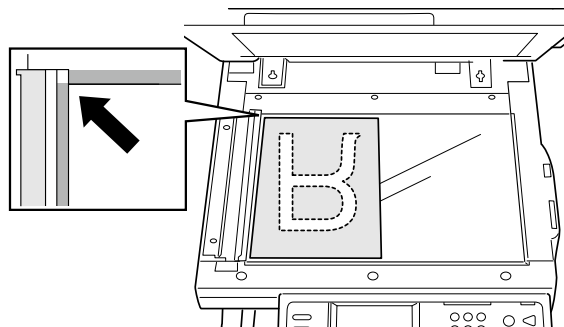
原稿をセットする

修正液、インク、スタンプなどは完全に乾かしてからセットしてください。

■ 自動原稿送り装置に原稿をセットするとき

1 コピーまたは送信する面を上に向け、機械の中央にセットします。（セットした原稿の上からコピーまたは送信されます）

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

3 原稿の先があたるまで、軽く差し込みます。

■ ガラス面に原稿をセットするとき

1 原稿押さえカバーを開け、コピーまたは送信する面を下にし、左手奥側のセット基準に原稿を合わせます。

2 原稿押さえカバーを静かに閉め、原稿をガラス面に密着させます。

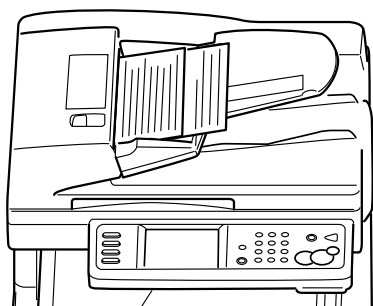
サイズが異なる原稿をセットする（ミックス原稿）

ミックス原稿コピーで、同じ幅で長さの違う原稿を一緒にセットする場合は、以下のようにセットしてください。

メモ

- 一緒にセットできる原稿サイズは、次の３通りです。
  - A3 と A4（）
  - B4 と B5（）
  - A4（）と A5（）

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

参照

- ミックス原稿コピーの詳しい手順は、便利な機能 / 本体の設定編「サイズが異なる原稿をコピーする（ミックス原稿）」をご覧ください。

6 操作パネルを使用して文字を入力する

文字入力画面について

■文字入力画面について

変換ウィンドウ
入力した文字や変換した文字、確定した文字を表示します。

入力位置移動カーソルキー
文字入力位置を移動します。

クリア
文字を削除する場合に押します。

文字パネル
文字を入力したり、変換したりするキーです。入力モードによってキーの文字が切り替わります。

入力モード切り替えキー
入力する文字種を切り替えるときに使用します。

入力した文字数／入力可能文字数
この画面で入力できる文字数と今までに入力した文字数です。半角文字１文字を１として表示します。全角文字では２ずつ増えていきます。

参照

● 「変換ウィンドウに表示される文字」（P.85）の「全角と半角」をご覧ください。

■変換候補選択画面

かな入力モードで入力中に［変換］を押すと、漢字変換の候補が表示されます。

候補ウィンドウ
入力文字から変換できる語句の候補が表示されます。候補を選択するには語句の横の数字を押します。

文節カーソルキー
変換文字列の文節の長さを変えるときに使用します。

取り消し
変換せずに候補ウィンドウを閉じる場合に押します。

ウィンドウ切り替えカーソル
変換候補の語句が多数ある場合、候補を切り替える場合に使用します。候補は５個ずつ切り替わります。ウィンドウの数はカーソルの間に表示します。

変換ウィンドウに表示される文字

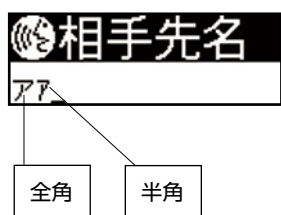
■確定と未確定

文字が反転表示になっているときは変換できる状態です。これを「未確定」と言います。[無変換] を押して、文字が変換できない状態に(入力を決定)することを「確定」と言います。未確定の文字は 15 文字まで入力できます。

メモ

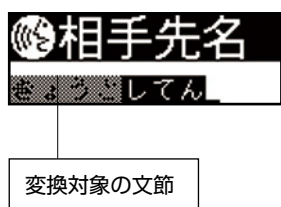
- かな入力モードで入力した文字は全て未確定になります。それ以外の入力モードでは確定状態で入力されます。

■全角と半角

文字を入力するとき、全角文字と半角文字があります。全角は半角の 2 倍の大きさです。半角文字で 24 文字入力できる場合、全角文字では 12 文字になります。

■文節表示

変換途中の文字は、文節と呼ばれる単位で区切られて表示されます。複数の文節がある場合は、一番初めの文節だけが変換対象になります。変換対象になっている文節は網掛けになって表示されます。

参照

- 文節の長さを変えるには、文節カーソルキーを使用します。「変換する文節の長さを変える」(P.88)をご覧ください。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

文字を入力する

発信元や短縮ダイヤルの相手先など、文字を入力するときに参照してください。

入力できる文字は、漢字（全角）、ひらがな（全角）、カタカナ（全角／半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）、記号（全角／半角）です。

漢字は JIS 第一水準、JIS 第二水準が入力できます。

※漢字変換プログラム：日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。

“Mobile Wnn”（c) OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved

漢字 / ひらがなを入力する

1 ［かな］を押し、文字パネルにひらがなを表示させます。

メモ

- 全角文字が入力できる場合、入力モードは初めから「かな」になっています。

2 文字パネル上から入力する文字を選択します。

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力する

1 「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は、［゛］［゜］を押します。

メモ

- 濁点や半濁点を付けたい文字を入力した直後に押してください。

小文字を入力する

1 「ょ」や「っ」などの小文字を入力する場合は、［小文字］を押します。

2 小文字を入力します。

メモ

- 再度、大文字を入力するには［大文字］を押します。

はじめに / 1 製品を確認する / 2 本機を設置する / 3 電源を入れる／切る / 4 用紙について / 5 原稿について / 6 操作パネルを使用して文字を入力する / 7 各機能を使用する / 索引

ひらがなにする

1 ［無変換］を押します。

2 ひらがなに確定されます。

漢字にする

1 ［変換］を押します。

注

- 一度確定した文字を変換することはできません。

2 漢字候補が表示されます。

3 入力したい候補の語句を選択します。

4 漢字が確定されます。

変換する文節の長さを変える

文節の長さは自動的に判断されますが、長い文字列を適切に入力するときなど、文節の長さを変更してより適切な文字を候補ウィンドウに表示させることができます。

1 文節カーソルキーを押します。

メモ

- ◀を押すと文節を縮めます。▶を押すと文節をのばします。

2 文節の長さが変わり、それに応じて変換候補が変わります。

メモ

- ［取消し］を押すと変換ウィンドウを閉じ、未確定状態に戻ります。もう一度、［変換］を押すと自動的に文節を判断して候補ウィンドウを表示します。

3 文字を確定していきます。

英字を入力する

1 ［英字］を押し、文字パネルにアルファベットを表示させます。

2 文字パネル上から入力する文字を選択します。

メモ

- 英字入力に切り替えた直後では半角文字の大文字で入力されます。

小文字を入力する

1 ［小文字］を押します。

2 小文字を入力します。

メモ

- 大文字の入力に戻るには［大文字］を押します。

全角の英字を入力する

1 ［全角］を押します。

2 全角の英字を入力します。

メモ

- 半角の入力に戻るには［半角］を押します。

カタカナを入力する

1 ［カナ］を押し、文字パネルにカタカナを表示させます。

メモ

- ボタンを押した直後は、全角文字の大文字で入力されます。

2 文字パネル上から入力する文字を選択します。

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力する

1 「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は、［゛］［゜］を押します。

メモ

- 濁点や半濁点を付けたい文字を入力した直後に押してください。

小文字を入力する

1 「ョ」や「ッ」などの小文字を入力する場合は、［小文字］を押します。

2 小文字を入力します。

メモ

● 再度、大文字を入力するには［大文字］を押します。

半角のカタカナを入力する

1 ［半角］を押します。

2 半角のカタカナを入力します。

メモ

● 全角の入力に戻るには［全角］を押します。

記号を入力する

1 ［記号］を押し、文字パネルに記号を表示させます。

メモ

● ボタンを押した直後は、全角の記号が表示されます。

2 記号を入力します。記号を切り替えるには、文字パネル内のカーソルキーを押します。

半角の記号を入力する

1 ［半角］を押します。

2 半角の記号を入力します。

メモ

● 全角の入力に戻るには［全角］を押します。

数字 / 空白（スペース）を入力する

数字を入力する

数字はテンキーまたは英字入力画面で入力します。

入力モードによって入力した数字が変化します。例えば、半角の英字入力中は半角の数字が入力されます。かな入力時は全角の数字が入力されます。

メモ

- かな入力にて文字が未確定になっている場合は、数字も未確定で入力されます。

かな入力時

半角英字入力中

空白（スペース）を入力する

入力中に［空白］を押します。入力モードによって入力した空白が変化します。例えば、半角の英字入力中は半角の空白が入力されます。かな入力時は全角の空白が入力されます。

メモ

- かな入力にて文字が未確定になっている場合は、空白も未確定で入力されます。

かな入力時

半角英字入力中

- 文字が確定し、カーソルが右端にあるとき、入力位置移動カーソルキーの右ボタンを押すと、空白が入力されます。

文字を削除／挿入する

文字を削除するには、入力位置移動カーソルキーで削除したい文字までカーソルを移動し、［クリア］を押します。
挿入する場合も、入力位置移動カーソルキーで挿入したい位置までカーソルを移動し、文字を入力します。
ただし、未確定の文字がある場合、カーソルは未確定の文字列内でしか移動できません。

文字を削除する

1 入力位置移動カーソルキーで削除したい文字までカーソルを移動します。

2 ［クリア］を押します。

メモ

- 直前に入力した文字は、［クリア］を押すだけで削除できます。

文字を挿入する

1 入力位置移動カーソルキーで挿入したい位置までカーソルを移動します。

2 文字を入力します。カーソルの前に入力した文字が挿入されます。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

本文を編集する

メール本文を編集するとき、改行したい場合は［改行］ボタンを、内容を表示したい場合は［内容表示］ボタンを押します。

改行する

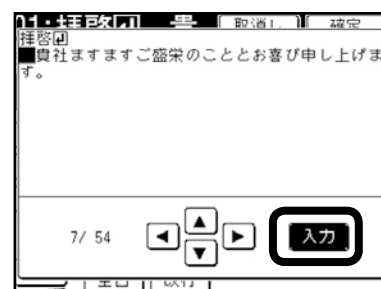
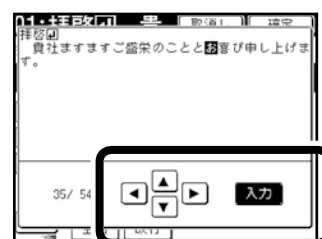
1 入力位置移動カーソルキーで改行を入れたい箇所までカーソルを移動します。

2 ［改行］を押します。

3 カーソルの前に改行 (↵) が入力されます。

本文の内容を表示する

1 ［内容表示］を押します。

2 ［入力］を押すと、入力画面に戻ります。

- ◀▶▲▼キーを使い、カーソルを編集したい場所に移動してから［入力］を押すと、その場所から編集できます。

はじめに
1 製品を確認する
2 本機を設置する
3 電源を入れる／切る
4 用紙について
5 原稿について
6 操作パネルを使用して文字を入力する
7 各機能を使用する
索引

7 各機能を使用する

プリンター、ファクス、スキャナー機能を使用するための設定

プリンター、ファクス、スキャナー機能を使用するときは、本機を設置したあと、以下の流れに沿って設定してください。コピーとスキャン To USB は、設定する必要はありません。

プリンター

Windowsの場合

ネットワーク経由で接続します

1. WindowsにIPアドレス等を設定します
2. 本機にIPアドレス等を設定します
3. プリンタードライバーをインストールします

基本操作編「ネットワーク経由でセットアップする（Windows）」

USB経由で接続します

1. プリンタードライバーをインストールします

基本操作編「USB経由でセットアップする（Windows）」

Macintoshの場合

ネットワーク経由で接続します

1. 印刷する方法を決定します
2. Macintoshを設定します
3. プリンタードライバーをインストールします
4. プリンターを設定します

基本操作編「ネットワーク経由でセットアップする（Mac OS X）」

USB経由で接続します

1. プリンタードライバーをインストールします

基本操作編「USB経由でセットアップする（Mac OS X）」

設定が完了しました

スキャン To メール
スキャン To ネットワークPC
スキャン To リモートPC
スキャン To ローカルPC
本機の管理者パスワード、IP アドレスを確認します
基本操作編
「スキャナー機能の設定を始める前に」
メールソフトの設定情報を確認します
基本操作編
「必要な情報を確認する」
コンピューターの設定情報を確認します
基本操作編
「必要な情報を確認する」
スキャナードライバーをインストールします
便利な機能/本体の設定編
「スキャナードライバー(TWAIN / WIA / ICA ドライバー)をインストールする」
データーを保存するコンピューターを設定します
基本操作編
「データを送信するコンピューターを設定する」
本機に E メールアドレスやメールサーバを設定します
基本操作編
「Eメールアドレスやメールサーバーを設定する」
ActKey アプリケーションをインストールします (Windows のみ)
便利な機能/本体の設定編
「ActKeyアプリケーションを使用する」
本機にプロファイルを作成します
基本操作編
「プロファイルを作成する」
設定が完了しました

アルファベット

M

O

U

V

かな

あ

い

お

か

き

け

こ

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

に

ね

は

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-654-632

（携帯電話からは ナビダイヤル 0570-055-654）

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間　9:00〜20:00 月曜日〜金曜日
9:00〜17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

発行日　2012年　8月
45345301EE Rev1